

2007 静岡大学公開セミナー報告集
通巻第4号

学んで楽しい！－大学で学ぼう－ 学びの内容とその支援

静岡大学生涯学習教育研究センター
(講座企画 静岡県知的障害者就労研究会)

目次

挨拶	2
【概要編】	
講座の趣旨（徳増 五郎）	4
知的障害のある人の生涯学習について～各地の大学公開講座等の実施状況～（渡辺 明広）	6
【講義編】	
講義①「アイスブレイクからはじめよう！～心理の世界へようこそ～」（大畑 智里）	9
講義②「地震はなぜ起こる？」（小山 真人）	19
講義③「コンビニの秘密」（伏見 一茂）	27
講義④「モータってなんだ？～ペットボトルモータをつくろう！～」（増田好治・今田真一）	39
【資料編】	
授業後のアンケートのまとめ（柴田 美鈴）	50
学びのパートナーとして、いっしょに受講して（渡辺 明広）	52
参加者の感想（高木 亮・田中宏和）	55
これまでの「学ぶって楽しい！－大学で学ぼう－」（五條由美子）	57
スタッフ名簿	59
編集後記	60

挨拶

平成17年10月より始まった大学講座「学んで楽しい！ー大学で学ぼうー」も、通算4回目、5回目を迎えることができました。

この大学講座は、知的障害者のための生涯学習の場を設けたいという願いから、目白大学の松矢教授の御協力を得て始まりました。第2回からは、静岡大学に御賛同をいただき、静岡大学公開講座という形で行われ、本年度から大学の公開セミナーとして開いていただいています。

講座を開催するたびに、受講者の皆様の学びに対するひたむきな思いに圧倒されます。大学に行き大学で学ぶこと、その道の専門家である講師から本物の講義を受けることに大きな価値を見出しているのでしょう。また、学びのパートナーである静岡大学の学生の皆様とふれあい、共に学びあうことも、大きな喜びになっています。

回を重ねるにつれ、御殿場や藤枝など遠方からの参加者も増え、この10月には東部地区で初めての大学講座も開かれました。受講者の皆様の要望に応えられるように、内容の充実を図り、さらに魅力ある講座にしていきたいと願っています。

いつも御協力いただいている静岡大学生涯学習教育研究センター、各地区の青年学級、養護学校の同窓会、静岡大学学校教育教員養成課程の学生等、多くの皆様に厚く御礼申し上げます。今後とも、よろしく御支援をお願いし、お礼の御挨拶といたします。

静岡県知的障害者就労研究会代表 池上 登

挨拶

静岡大学生涯学習教育研究センターは、大学の知的資源を広く地域社会に開放する窓口です。1997年に設置されて以来、地域社会と連携しながら、公開講座の統括をはじめとして、公開セミナーやシンポジウム、公開講演会の実施、そのほか地域の方々と連携してさまざまな事業を行ってきました。

この「学んで楽しい！」は、障害者を対象にした講座で、静岡大学の中でも特色ある取り組みとして評価されています。今年度は、公開セミナーという形で、講座の運営をお手伝いすることになりました。

大学は敷居が高いという印象を持たれてしまうことが多いですが、そんなことはありません。健常者・障害者の垣根なく、大学が地域の中でもっと身近な存在になれるよう、これからも努力していきたいと考えています。この講座をきっかけに、大学との新しい関係が生まれ、未来に向けて育っていくことを願っています。

最後に、「学んで楽しい！」の開催にあたっては、実質的な企画をされた静岡県知的障害者就労研究会のみなさま、ボランティアで講座運営に尽力して下さった各養護学校のみなさまや学生たちの多大なるご協力をいただきました。厚く御礼申し上げます。

静岡大学生涯学習教育研究センター長（理事・副学長） 山本 義彦

講座の趣旨

徳増 五郎

はじめに

静岡県知的障害者就労研究会（以下、本研究会）は、知的障害養護学校の卒業生の就労の拡大・継続と生活支援の研究活動を行っており、就労を支えるためには、余暇の充実や生涯学習が重要であると考えている。つまり、知的障害者にとっても、学び続ける機会があることは、社会参加の機会と幅が広がり、人生をより豊かにすることができると考えているのである。具体的には、自然界の現象や社会における出来事、さらには専門分野の講義を聴くことを中心に学びを進め、深めることも可能であると思われるのだが、これまではこうした種の学習の機会が、成人の知的障害者には用意されていなかった。

しかし近年、障害のある人への学校教育以外の教育的取り組みは、「生涯学習」という枠組みではないものの、さまざまな実践が展開されるようになった。静岡県内では、2005（平成17）年から、本研究会が、静岡市及び周辺の青年学級等の人たちに呼びかけ、科学と地理、外国文化等についてのテーマの講義を聴く講演会を開催している。毎回、知的障害のある社会人が40数名、学習支援者として20数名の学生と一緒に受講し、学びができる講座を目指している。

静岡のスタイル

静岡での講座を開催するにあたって、本研究会に実行委員会を設置した。そして、先進的な取り組みをしている講座を見学させていただいたり、文献による調査をしたりしながら、静岡ならではのものを作りたいと考え、以下の二点を大切にしていくこととした。

(1) 主体的な学びに

「こうすることが望ましい」といったことを教える授業ではなく、参加者が「こんなことを学びたい」と思う事項を題材としたい。また、体験活動のみで「面白かった。楽しかった」というような、単なる遊び感覚にならぬよう、「知的好奇心をくすぐりつつ、難しいことを分かりやすく、自分たちなりに考える場を設けた」講義を目指したいと考えた。

そこで、参加者の希望から講義内容を決めた。至極当然のことではあるが、要望に適した講師を探すことは、なかなか容易ではなかった。幸い多くの方々から「こんな先生がいらっしゃるよ。」と情報提供していただくことができ、非常にありがたかった。

それから、本講座の趣旨を理解していただいた上で様々な環境設定するために、講師の先生方と何回か打ち合わせをさせていただいた。その中で、視覚や聴覚にうたえる教材を用意することや実験等の体験活動の導入、ワークシートへの記入及び小グループによる話し合いの時間の確保といった展開が有効ではないかと考えた。受講生の学びの様子や感想、アンケートの結果から見ると、こうした環境設定が魅力ある講義につながったと思われる。

(2) ユニバーサルな学びに

講義の中で、課題解決に向けて意見交換をすることにより、お互いがお互いを理解したり、共に学ぶことができ良かったという充実感や達成感を持ったりすることは、非常に意義深い。しかし、他地域でも障害のある人と障害のない人が一緒に学ぶことができるよう努力しているが、実現している所は少ないようである。

そこで、本講座では静岡大学教育学部障害児教育講座の学生に、学びのパートナーとして共に講義に参加し、必要最低限の支援のみしてもらおうよう依頼した（基本的には参加者本人の自主性に任せ、参加

者が困っていたり参加者に質問されたりした時のみ支援する)。

お互いが、普段接したことの無い人との共同作業であったが、学生諸君が学習活動を通して参加者の意見を引き出してくれる場面が多くみられた。また、感想文から参加者のひたむきな態度が、学生には響くものがあったこともうかがうことができ、「共に学ぶ」という目的に近づくことができたと考えている。

実施要項

○第4回実施分

<講座名> 第4回 学ぶって楽しい！—大学で学ぼう—（平成19年度静岡大学公開セミナー）

<期 日> 平成19年6月24日（日）

<場 所> 静岡大学学生会館

<対 象> 静岡市と周辺の地域の知的障害をもつ社会人

<講師及び講義内容>

小山真人先生「地震はなぜ起こる？」

静岡大学教育学部理科教育教授。理学博士。

大畑智里先生「アイスブレイクからはじめよう！～心理の世界へようこそ～」

静岡大学教育学部附属特別支援学校高等部教諭。学校心理士。

○第5回実施分

<講座名> 第5回 学ぶって楽しい！—大学で学ぼう—（平成19年度静岡大学公開セミナー）

<期 日> 平成19年10月28日（日）

<場 所> 静岡大学学生会館

<対 象> 静岡市と周辺の地域の知的障害をもつ社会人

<講師及び講義内容>

伏見一茂先生「コンビニの秘密！」

株式会社セブン-イレブン・ジャパン 長野・山梨・静岡ゾーンマネージャー。

増田好治先生「モータって何だ？～ペットボトルモータをつくろう！～」

NPO法人技術教育教材開発研究会。静岡大学名誉教授。工学博士。

知的障害のある人の生涯学習について ——各地の大学公開講座等の実施状況——

渡辺 明広

知的障害のある人たちの大学公開講座やオープンカレッジなどによる生涯学習は、権利論、学習論、運動論としてそれぞれに展開し、深められてきている。

東京学芸大学公開講座

わが国初の知的障害のある人を対象にした東京学芸大学公開講座「自分を知り、社会を学ぶ」の、1995（平成7）年から9年間にわたる講座内容は生活講座（〈はたらく—仕事〉〈暮らす〉〈楽しむ—趣味・余暇利用〉〈つきあう—交際・結婚〉）と教養講座（大学近郊の自然環境から学べる題材）の2つの領域で構成された（平井ら，2004）。この公開講座の実施においては、学習成果の検証も進められ、受講生はこの経験を通して「勉強がしたい」という学びの要求を喚起されたと同時に、「友だちを増やしたい」という希望も高い人たちであり、講座を受講することによって「趣味を広げ余暇を活用する」ことを学んだことで「交際の広がり」がもたらされたことが明らかになっている（平井，2006）。

さらに、9年間続いた公開講座の成果を引き継ぎ、発展させるべく、2004（平成16）年からは、知的障害のある成人と一般受講生との共同学習の場として（「書に親しむ」「天気について楽しく学ぶ」「自分を守る」という3つの題材で）公開講座「いっしょに学び、ともに生きる」を開催している（平井，2005）。この講座の開催を通して、健常者と知的障害者が講座の内容を一緒に学べたか、講座が行われている時間をともに生きることができたかについて、コミュニケーション機能の分析から検証が試みられている（加藤ら，2006）。

関西の大学における、オープンカレッジの実践

関西では、①人権（教育を受ける権利）の保障、②変化（発達）の可能性の保障、③大学の地域への貢献の3つの目標をめざした知的障害のある人のオープンカレッジの実践が1998（平成10）年8月より大阪府立大学社会福祉学部を中心に始まり、その後、武庫川女子大学、桃山学院大学で行われ、全国に広がりを見せている。25名前後の決まったメンバー（障害の程度は問わない）が4年間継続して大学や課外で年に3～5回（日数にして、計6～10日）講義を受けたり、交流会を開いたりしている（4年制の修学制度）（安原，2004）。講義は、グループワーク論や障害者福祉論などの理論型の授業や、スポーツ、料理、芸術といった、生活を楽しむための実践型授業など、様々な分野・領域のものを取り入れている。

社会福祉学科の学生が中心となって（ソーシャルワークの学習の一環として参加）、2000（平成12）年度より運営している「桃大オープンカレッジ」では、受講生の自発性、自己表現の尊重、達成感の経験等を目標にした講義の方法を取り入れている。学生は、受講生には「せんせいやスタッフ、サポーターは、教える人ではなく、あなたを支える人」と紹介されている（安原，2005、安原，2006）。

このオープンカレッジのめざす理念の根底は、国連やユネスコなどの国際機関が提唱する普遍的な人権をふまえ、大学教育・生涯教育を通じて人としての「権利の保障」や遠ざけられている「権利」への接近である。さらに、「個」としての人間を見つけた時に「発達の保障」を支援するものであり、人生の「すべての」時期における「発達」への支援の重要性を認識し、その保障の実践を目標とするものである（建部，2001）。

各地における、特色ある大学公開講座

独自の大学公開講座を実施している大学もある。2003（平成15）年度から始まった長崎純心大学の「純心カレッジ三ツ山塾」は、地域で生活している知的障害のある人と学生ボランティアが、イギリスのボランティア組織“One-to-One”を参考に「友人関係」を作りながら、自分たちの身近な問題や長崎の歴史や文化を学ぶための学習プログラム（「被爆60周年、平和について考える」「長崎のわらべうた」「長崎の祭り」など）を入れている（松永，2005、松永，2006）。

神戸大学の一研究室が地域連携の一環として実施している公開講座は、「大学で自分の世界を広げよう～知的障害をめぐる社会的課題解決をめざして～」と題して、2003年度から開催している。ライフストーリーの成人教育への応用をテーマとし、本人たちが言語、造形、音楽、書を媒介に自らを語る機会とする、特色ある講座を展開している（津田ら，2006、津田，2006）。

また、2001（平成13）年3月から開催している、「オープンカレッジin鳥取」は学校卒業後の教育・学習の機会保障は権利論として位置づけ、義務教育、後期中等教育に次ぐ第3の権利保障運動の展開をしている。運営委員は学校教員・福祉施設職員・医療関係者や保護者・当事者など、30名弱の有志による。大学主催ではなく、運営委員による手弁当という色合いが強い。1年間通じて科目を履修することで卒業する、入学一修了制度（通年科目制）を導入して定員を設け、2004年度より体験内容を重視した講座のみの開催を秋に実施し、年4回の開催となっている。各回10科目（音楽、芸術、写真学、エアロビクス、危機管理、コミュニケーション学、経済学等）ほどこの中から選択して受講する（國本，2004、國本，2005）。

静岡における大学公開講座

静岡県内では、2005（平成17）年10月に、知的障害養護学校の卒業生の就労と生活支援の研究活動を行っている静岡県知的障害者就労研究会（県下の知的障害養護学校の進路指導担当教員らが会員）が、静岡市及び周辺の青年学級等の人たちに呼びかけ、科学と地理、外国文化についてのテーマの講義を聴く講演会を開催した。この会の同じ実行委員会が企画し、2006年度は静岡大学が主催する公開講座となって6月と10月の2回開催した。翌2007年度は同大学が主催する公開セミナーとして6月と10月の2回開催した。講義内容は、地元の歴史、海外旅行の情報、宇宙の不思議、サッカーなどバラエティーである。毎回、知的障害のある社会人が40数名、学習支援者として20数名の学生と一緒に受講し、学ぶことができる講座を目指している。（徳増ら，2007、渡辺ら，2007）。

以上、各地の大学公開講座等の実施状況を概観した。これらの大学公開講座の関係者が集まって、日本特殊教育学会で自主シンポジウムが企画されている。2006年度においては、①障害のある当事者の学習ニーズは何か、それはどのような権利に根ざしているか、②そこでの「学び」とはどのようなものであるのか、「学び」の効果はいかなるものか、③この取り組みを広げ、発展させ、定着させていくためには何が必要か、といった課題意識が共有され、議論が進められている（松矢，2006）。

文献

- 平井威、小笠原まち子、平塚直樹、松矢勝宏 知的障害者の生涯発達と大学公開講座 1—東京学芸大学「自分を知り、社会を学ぶ」9年間から— 日本特殊教育学会第42回大会発表論文集 2004 p.529
- 平井威 「いっしょに学び、ともに生きる」新たな試み 知的障害者の生涯発達と生涯学習保障（自主シンポジウム 23） 日本特殊教育学会第43回大会発表論文集 2005 p.132
- 平井威 知的障害者の生涯学習支援 発達障害研究 第28巻 第3号 2006 p.20-25

- 加藤宏昭、菅野敦 東京学芸大学公開講座「いっしょに学び、ともに生きる」受講生の相互交渉に関する一考察 コミュニケーション機能の分析から 日本特殊教育学会第44回大会発表論文集 2006 p.662
- 國本真吾 「知的障害者の生涯発達と高等教育機関アクセスの保障」 知的障害者の生涯発達と高等教育機関アクセスの保障（自主シンポジウム 5）の発表資料 日本特殊教育学会第42回大会 2004
- 國本真吾 「特別支援教育時代における知的障害者の生涯学習—鳥取県における「オープンカレッジ」「ふれあい青年講座」」 知的障害者の生涯発達と生涯学習保障（自主シンポジウム 23）の発表資料 日本特殊教育学会第43回大会 2005
- 松永公隆 「知的障害者の生涯発達と生涯学習保障 レジюме & 資料」 知的障害者の生涯発達と生涯学習保障（自主シンポジウム 23）の発表資料 日本特殊教育学会第43回大会 2005
- 松永公隆 「知的障害者の生涯発達と生涯学習保障2 純心カレッジ三ツ山塾の活動報告」 知的障害者の生涯発達と生涯学習保障 2（自主シンポジウム 8）の発表資料 日本特殊教育学会第44回大会 2006
- 松矢勝宏他 知的障害者の生涯発達と生涯学習保障 2（自主シンポジウム 8） 日本特殊教育学会第44回大会発表論文集 2006 p.59
- 建部久美子編著 知的障害者と生涯学習の保障—オープンカレッジの成立と展開 明石書店 2001 p.33-115
- 徳増五郎・渡辺明広・五條由美子・柴田美鈴・田中宏和・大畑智里 知的障害者の生涯学習についての一実践—静岡大学公開講座「学ぶって楽しい！—大学で学ぼう—」 静岡大学教育学部附属教育実践総合センター紀要No.13 2007 p.217-226
- 津田英二・末本誠・張明順・小林洋司 知的障害者の親による社会的排除経験の語りに基づく相互教育—神戸大学公開講座の教育的ライフストーリー実践— 日本社会教育学会編 『社会的排除と社会教育』 東洋館出版社 200 p.200-213
- 津田英二 「知的障害者の生涯発達と生涯学習保障 2」 知的障害者の生涯発達と生涯学習保障 2（自主シンポジウム 8）の発表資料 日本特殊教育学会第44回大会 2006
- 渡辺明広・徳増五郎・五條由美子・柴田美鈴・田中宏和・大畑智里 知的障害のある人の生涯学習を支える、学習支援者の役割と支援の実際—静岡大学公開講座「学ぶって楽しい！—大学で学ぼう—」を一緒に受講した学生の感想・意見をもとに— 静岡大学教育学部附属教育実践総合センター紀要No.13 2007 p.227-242
- 安原佳子 知的障害のある人のオープンカレッジ 知的障害者の生涯発達と高等教育機関アクセスの保障（自主シンポジウム 5） 日本特殊教育学会第42回大会発表論文集 2004 p.113
- 安原佳子 桃大オープンカレッジ受講生の変化と学習の保障 知的障害者の生涯発達と生涯学習保障（自主シンポジウム 23） 日本特殊教育学会第43回大会発表論文集 2005 p.132
- 安原佳子 桃大オープンカレッジの実践において 知的障害者の生涯発達と生涯学習保障 2（自主シンポジウム 8） 日本特殊教育学会第44回大会発表論文集 2006 p.59

【講義①】

アイスブレイクからはじめよう！
～心理の世界へようこそ～

大畑智里

「学ばって楽しい！」 2007・6・24

アイスブレイクから はじめよう！

～心理の世界へようこそ～

1

こころ



2

こころ

昔の人たちは・・・

“こころ”は心臓にある



ブローカ 脳の研究

脳が“こころ”を動かしている
“こころ”は脳の一部？

3

こころ

“こころ”の世界へようこそ！！

今日は“こころ”の不思議から、まわりの人とのつきあい方について考えていこう



4

アイスブレイク

きんちょうしてしまうなあ・・・。

知っている人はいるかな？

となりの人は何を考えているんだろう？



5

アイスブレイク

アイスブレイク



氷のようにきんちょうしてしまった
“こころ”をときほぐしていくこと

6

アイスブレイク

あいこでジャンケン

どちらが勝つのではなく、気持ちをあわせてあいこしていく



さあ、何回あうかな？

7

アイスブレイク

気持ちをあわせることって、むずかしいでも、あつた時はとっても気分がよい

人と人との
関係作り
↓
“こころ”の機能



8

人間関係のお話

～印象が示す“ころ”～



9

印象でかたる人間関係

アッシュの実験

ちょっと簡単版
そうぞうしよう！

Aさん

ものしり
まじめ
こうどう力のある
しっかりしている
がんこ
やきもちやき

Bさん

やきもちやき
がんこ
しっかりしている
こうどう力がある
まじめ
ものしり

10

印象でかたる人間関係

Aさん

Bさん



初頭効果 最初の印象はとても大切

11

印象でかたる人間関係

人間関係で
とても大切
な第一印象



12

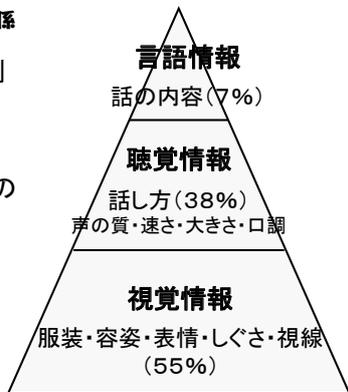
印象でかたる人間関係

メラビアン の 法則

第一印象

93%

が外的なもの



13

印象でかたる人間関係

第一印象に大きく
影響する4つ
の要素



14

「服装・容姿」の力 ①

ゲーテ 色は「内なる“ころ”の光」



あなたの
好きな色は？

今日の
服の色は？

15

「服装・容姿」の力 ②

芸術作品から



ピカソの「青色」



ゴッホの「黄色」

16

「服装・容姿」の力 ③



虹の色をイメージ

色は光があつてはじめて色となる
太陽の光は人の“こころ”や身体の健康を作る

17

「服装・容姿」の力 ④

 赤	激しいエネルギーをもつ。積極的で、行動派が多い。	 紫	赤と黄色の中間。家庭を意味。明るく、活力に満ちている。
 黄	光に近い色。快活さや明朗さ、大きな夢を追うやうな気や希望。	 緑	信頼や安全を示す。我慢強く、冷静、堅実な考えを持つ。
 青	落ち着きがあつて、誠実、物静か。礼儀正しい印象。	 青紫	青と紫の中間。気品や孤独、集中する。精神的なイメージ。
 紫	美の象徴。神秘的でロマンチック。心が豊かで芸術家タイプ。		

18

印象でかたる人間関係



第一印象に大きく影響する4つの要素

19

「表情」の力

特に目は大切 「目は口ほどにものを言う」



まばたきの多い人 よく視線のあう人

20

「しぐさ」の力

身体の動きが“こころ”をかたる



耳が真っ赤になる人 髪をよくさわる人

21

「話し方」の力

話し方はインパクト大！！



目を見てはっきり話す人 うつむいてぼそぼそ話す人

22

印象でかたる人間関係

今回は第一印象についてのお話だけ

第一印象はとても大切なこと

でも第一印象がすべてではなく、その後の人間関係作りはもっと重要なこと



23

人間関係のお話

～つきあい方の“こころ”～

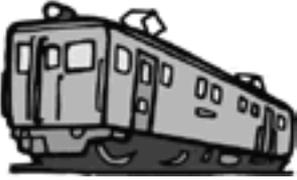


24

適切な距離感 ①

そういえば、こんなこと！

バスや電車で、他の席も空いているのに
となりに知らないだれかが座った時
なぜか、ちょっと不ゆかいな気持ちに…。



25

適切な距離感 ②

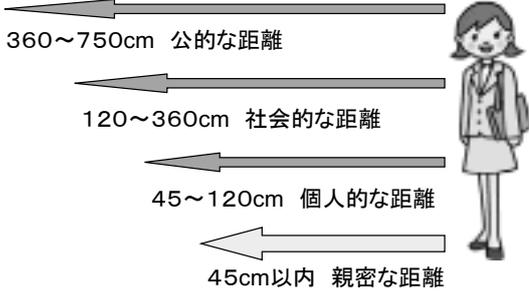
パーソナルスペース

360~750cm 公的な距離

120~360cm 社会的な距離

45~120cm 個人的な距離

45cm以内 親密な距離



26

コミュニケーションのために

ここでの出会いを大切に

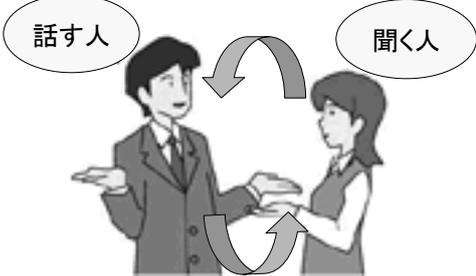


無人島SOS！！

27

コミュニケーションのために

話す人 聞く人



一方通行 (one way communication) → 相互通行 (two way communication)

28

コミュニケーションのために



ペーシング

相手にペースをあわせること

“こころ”と会話のキャッチボールは安心感を感じ、“こころ”もほぐれるもの

29

two way communication

無人島SOS！！

あなたは大嵐にあって、無人島にたどりつきました。

救助がくるまでいきのびるために大切なものを順に8つあげてください。



30

	ナイフとフォーク		ハンカチ
	鍋		お湯
	お茶碗		醤油
	箸		お酢
	お箸		お塩
	お茶		お砂糖
	お湯沸かし器		お茶箱
	お茶袋		お茶巾
	お茶碗		お茶巾
	お茶碗		お茶巾

31

two way communication

きみたちのSOSはとどくか？

まとめてみよう

同じテーブルの人と話し合って同じ意見にまとめてみよう



<学生>
司会者 1名
記録者 1名

32

two way communication

無人島SOSを終えて

- 相手の意見を聞けましたか？
- 自分の意見を伝えられましたか？
- グループの意見はまとまりましたか？

今回のエクササイズでは、ちがう意見の人と同じ意見にまとめる「相互通行(Two way communication)」を体験することが大切。

33

クロージング おわりに

～ “こころ” を大切に～



34

まとめ

ルビンの杯——図地反転図形
(E. ルビン, 1921)



物事の二面性
「裏表」
「長所短所」
「プラスマイナス」

視点を変えれば、
ちがった世界が
見えるもの

35

まとめ

リフレーミング

みかたをかえて、短所を
長所にしていくこと

否定的な言葉も肯定的な言葉に変えていく

時間がかかる
やるが遅い
丁寧すぎる



コツコツ行う
じっくりできる
慎重派

36

まとめ

自分を知る
自分を
みがく

伝え合い
分かちあい

相手を知る
相手を
うけいれる

ポジティブ シンキング

自分らしさの発見！



37

2007・6・24 「学ぶって楽しい！」

アイスブレイクからはじめよう！ ～ 心理の世界へようこそ ～

☆ “^{ふしぎ}ころ”の不思議 ～“ころ”はどこにある？～

アイスブレイク

エクササイズ① 『あいこでジャンケン』

あたたかな関係作りと“ころ”

☆ ^{にんげんかんけい}人間関係のお話 ^{はなし} ～^{いんしょう}印象がしめす“ころ”～

アッシュの実験から Aさん と Bさん

第一印象とメラビアンの法則

印象の4つの要素

- | | |
|---------------|-------------|
| (1) 「服装・容姿」の力 | (2) 「表情」の力 |
| (3) 「しぐさ」の力 | (4) 「話し方」の力 |

☆ ^{にんげんかんけい}人間関係のお話 ^{はなし} ～^{がた}つきあい方の“ころ”～

適切な距離感 パーソナルスペース

one way communication(一方通行) と two way communication(相互通行)

“ころ”と会話のキャッチボール ペーシング

エクササイズ② 『無人島SOS』

☆ クロージング(おわりに) ～“ころ”を^{たいせつ}大切に～

短所を長所にかえる リフレーミング

自分らしさとポジティブシンキング



エクササイズ 『無人島SOS』

あなたは ^{おおあらし}大嵐にあって ^{むじんとう}無人島に たどりつきました。

^{きゅうじょ}救助がくるまで ^{いきのびる}いきのびるために ^{たいせつ}大切なものを

^{じゅん}順に 8つあげてください。



下の表に 1から8まで 番号を 書きこみましょう。

	ナイフとフォーク		マッチ
	なべ		おの
	おさけ		とけい 時計
	^{うみ} 海 ^{ちず} の地図		テント
	^{もうふ} 毛布		ロープ
	ラジオ		くすり
	^{さいほうどうぐ} 裁縫道具		カメラ
	タオル		^{えんぴつ} 鉛筆 ^{かみ} と紙
	^{ぼうえんきょう} 望遠鏡		

【講義のまとめ】

アイスブレイクからはじめよう！～心理の世界へようこそ～

大畑 智里

講義を設定するにあたって

この講義は社会人たちが就労生活における日々の悩みや喜びを語り合う中で、「異性の心理が知りたい。」「他人が自分のことをどのように思っているかを知りたい。」といった疑問や質問があげられたことからはじめた。そこで『心理学』をキーワードに、対人関係の基礎知識やコミュニケーションのとり方などに触れながら、学びを深めていけると良いと考えた。また、講義における社会人たちの知的好奇心の高まりと、よりわかりやすい講義を追求していくために、以下のようなことを重視して設定した。

<重視した点>

- ①心理学を中心のテーマとし、人間関係スキルを具体的な話題として盛り込むこと
- ②「見る」「聞く」だけでないエクササイズを取り入れ、学習者参加型の形態とすること
- ③“学びのパートナー”（主に大学生）と社会人との共同作業を取り入れること

講義の流れと内容

① “こころ”の不思議 ～ “こころ”はどこにある？

まず「心はどこにあるのか。」をテーマに、簡単な心理学の歴史について学ぶ。その後、会場に集まった緊張感をときほぐす「アイスブレイク」にうつり、エクササイズの『あいこでジャンケン』を行う。普通のジャンケンとは少し違った、人と人の気持ちを合わせるジャンケンである。気持ちを合わせることは簡単なことではないけれども、身近なジャンケンを通して心と心が通じ合う心地よさを感じることができた。

②人間関係のお話 ～印象がしめす “こころ”～

人間関係を築いていく大切な要素の一つ目には“印象”があげられる。『心理学』の分野から印象についての「メラビアン法則」や「4つの要素～（服装・容姿）（表情）（しぐさ）（話し方）～」などを紹介しながら、自分が他者に与える印象について考えていく。これまでの自分や今日の会場にいる自分を振り返り、自身の印象を高めていくことが社会生活でも重要であることを学ぶことができた。

③人間関係のお話 ～つきあい方の “こころ”～

メインの活動として人間関係について一歩踏み込んでいく。人との関係には適切な距離感と会話の仕方がある。ここでは「パーソナルスペースと緊張感」や「two way communication（相互通行）を意識すること」にふれ、体験型のエクササイズにうつる。エクササイズでは無人島で遭難した主人公になり、遭難生活に必要なものを選んでいくグループ討議『無人島SOS』を行った。価値観の違ったグループのメンバーとともに、意見交換を楽しみながらコミュニケーションの仕方を体験することができた。

④クロージング（おわりに）～ “こころ”を大切に～

最後に、物事は何事も「表」と「裏」がある。見方を変えれば今まで見えていたものも、また違った見方で見えてくるものだろう。日常生活にある物事も人も、いろいろな見方で見つめ、その中でその人らしさや自分らしさを発揮していけるようにすることが大切であることにふれた。生活の中での考え方や受け止め方を前向きに転換させることで、自信を持って社会人生活を歩めるよう考えることができた。

学びのパートナーとの学習について

『心理学』という難しいテーマに対しても身近なエピソードやエクササイズを織り交ぜることで、積極的に講義を聞き、社会人と学びのパートナーとが学びあう姿が多くみられるようになった。ここで、講義中に行った「自分の気持ち（緊張度）」を調べるアンケート結果をまとめる。

		とても緊張している 少し緊張している	リラックスしている
社会人	前半	29名	9名
	後半	19名	20名
学びの パートナー	前半	26名	6名
	後半	7名	35名



講義開始当初には社会人、学びのパートナーともに「とても緊張している・少し緊張している」に回答した人が多かったが、エクササイズを終えた講義後半には「リラックスしている」に回答する人が増えていた。つまり、社会人と学びのパートナーとの共同作業を取り入れていくことで、お互いの緊張感も緩和されていることがわかった。

以上のことから、お互いに意見を交換したり、ともにエクササイズを楽しんだりする中で、徐々に打ち解けあい、スムーズな学びにつなげていくことができたのではないかと考えられた。

講義を終えて

今回の講義を通して、多くの「学びの喜び」を感じさせる瞬間に立ち会うことができたように思う。講義終了後に感想などをたずねるアンケート調査には、以下のような記述が見られている。

<社会人>

- ・ぼそぼそと話をしている人は、はっきりと話をしている人の性格に気持ちを変えればいいなと思いました。
- ・アイスブレイクで「こころ」のことで知り、エクササイズで相手の人と仲良くなってきたことを心に残りました。
- ・相手の気持ちを知るとき、ちゃんと目を見て話すこと、大事にいうのがわかりました。
- ・人とコミュニケーションをとる事が大切だなと思った。
- ・人間関係の基礎が分かりやすくて良かった。もっとくわしく聞きたいです。

<学びのパートナー>

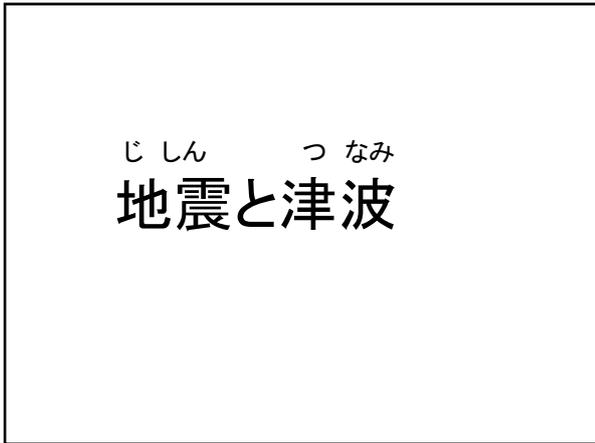
- ・ゲームをやったらすぐに仲良くなれました。最初に会う人と会話するのはドキドキするものだけれど、こうして一緒に取り組むとすぐにうちとけられるのだなあと思いました。
- ・初めて出会う人と話し合いを通して気持ちをほぐすことは今までにない経験で楽しかった。
- ・普段何気なくやっている人とのコミュニケーションを意識してよりよいものにしていきたいと思いました。
- ・最後の短所を長所に変えることが本当にできるようになりたいと思った。
- ・自分が楽しくすごすため、前向きに捉えるために、人と話す機会を増やすこと、話すことで、話し方も磨いていきたい。

日々の生活や人間関係の中には多くの不思議があり、それらを探求していくことの面白さは、毎日を更に充実させていくことだろうと思う。今後も社会人にとって、より良い学びの形を模索するとともに、このようにした『心理学』に関するワークについても考察を重ねていきたいと考えている。

【講義②】

地震はなぜ起こる？

小山 真人



1



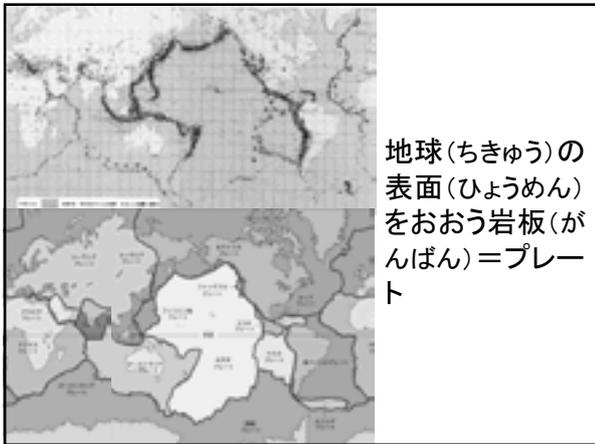
2



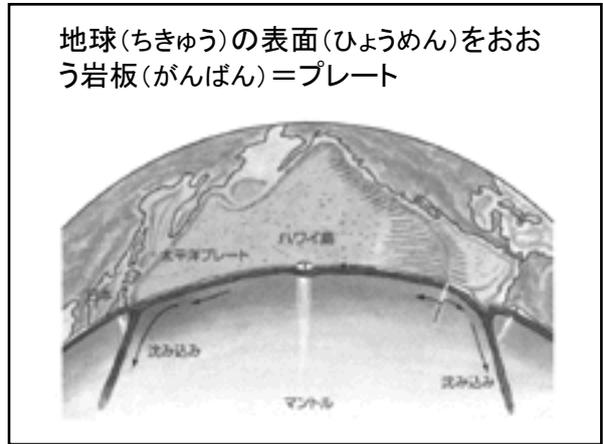
3



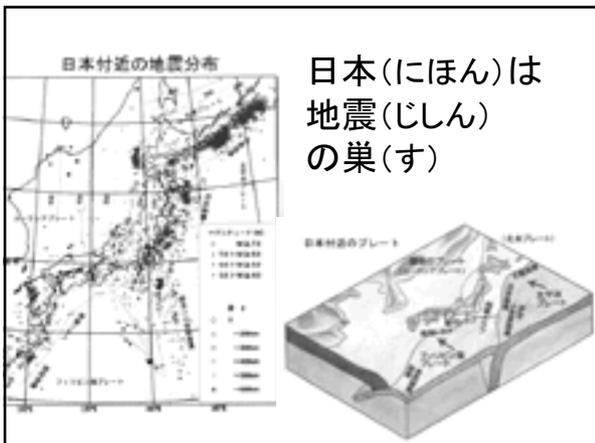
4



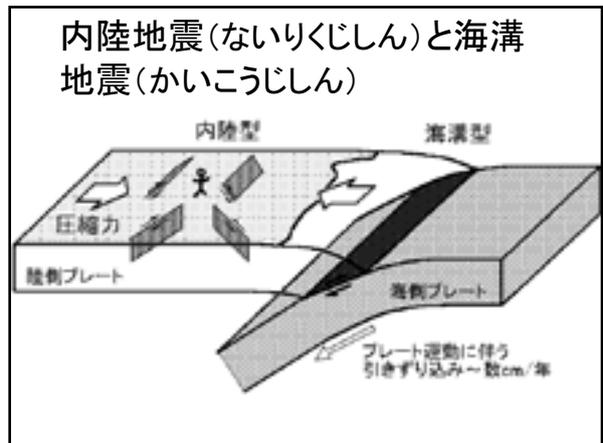
5



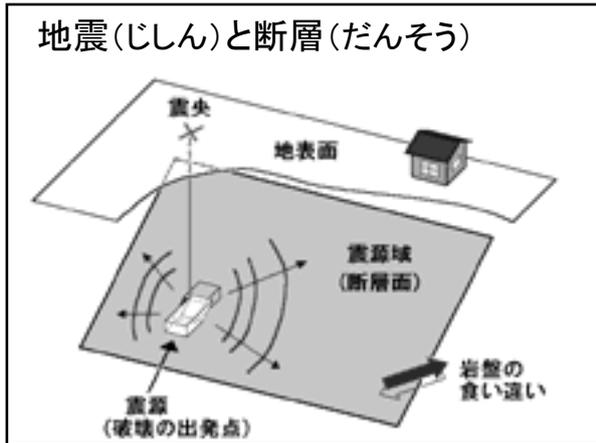
6



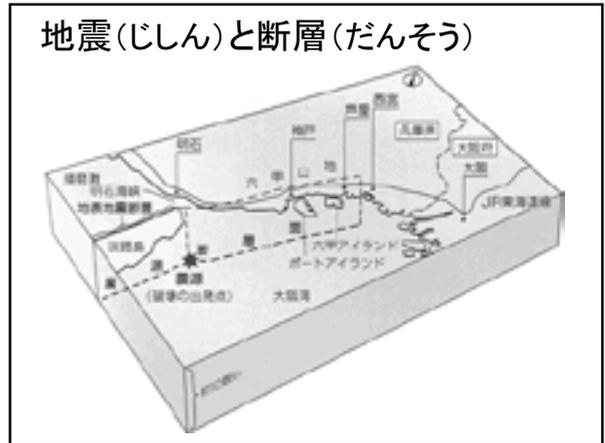
7



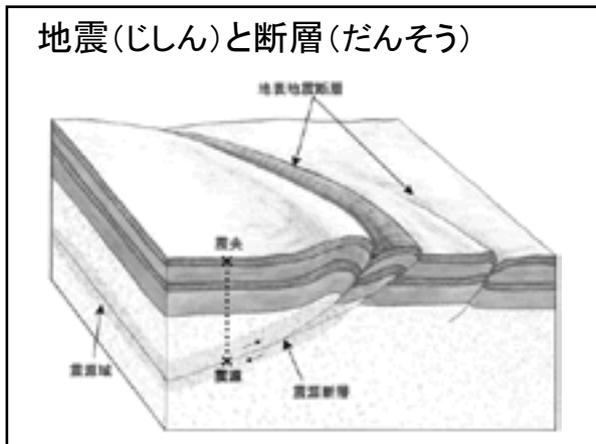
8



9



10



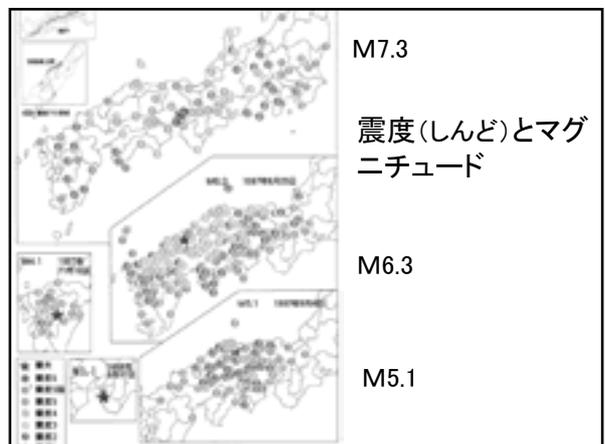
11



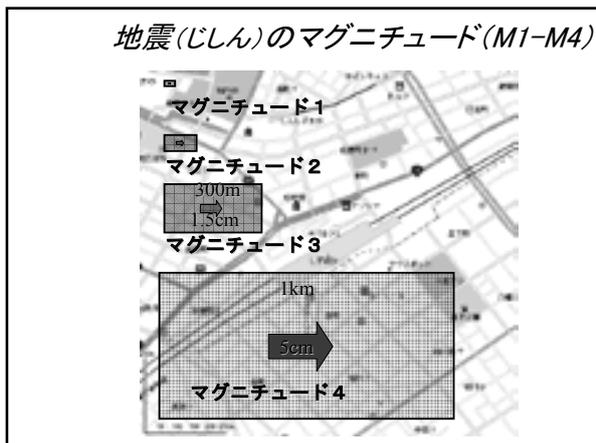
12



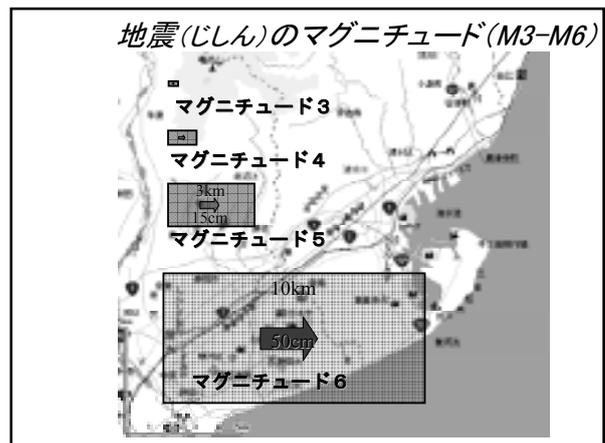
13



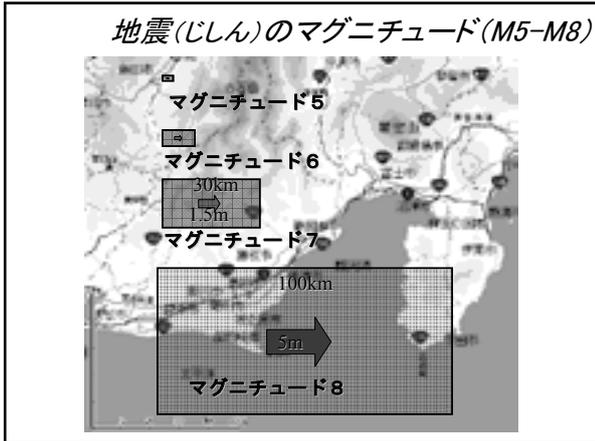
14



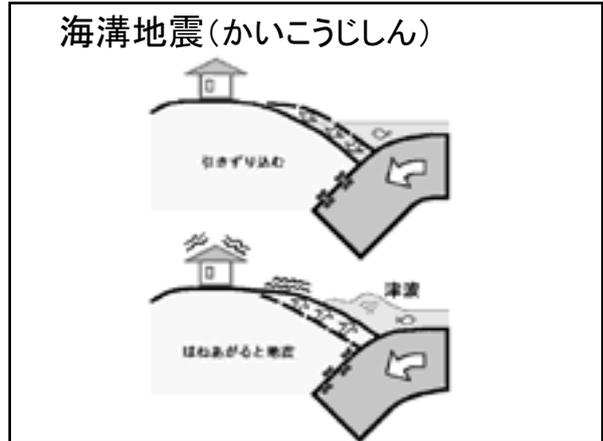
15



16



17



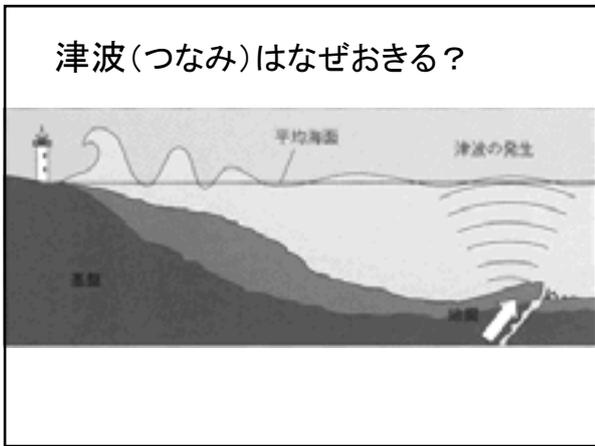
18



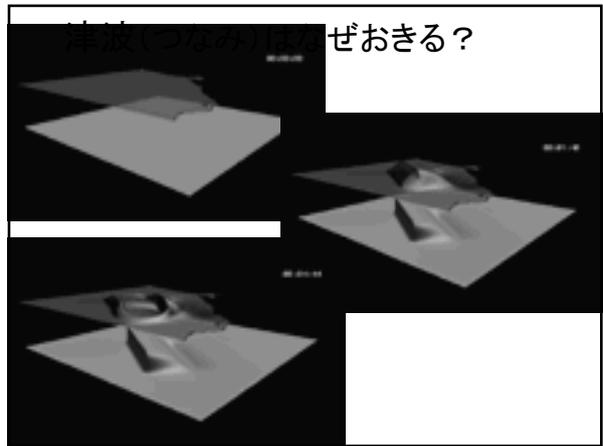
19



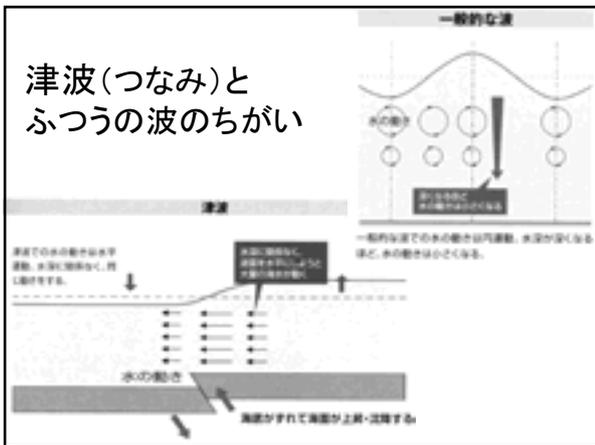
20



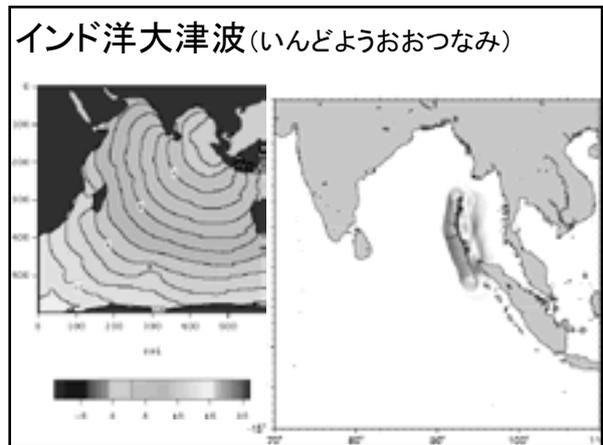
21



22



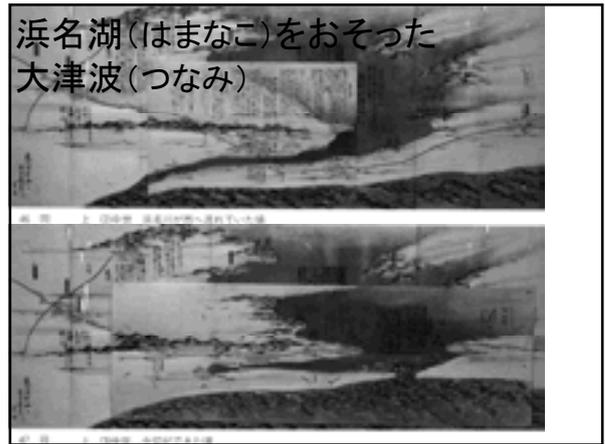
23



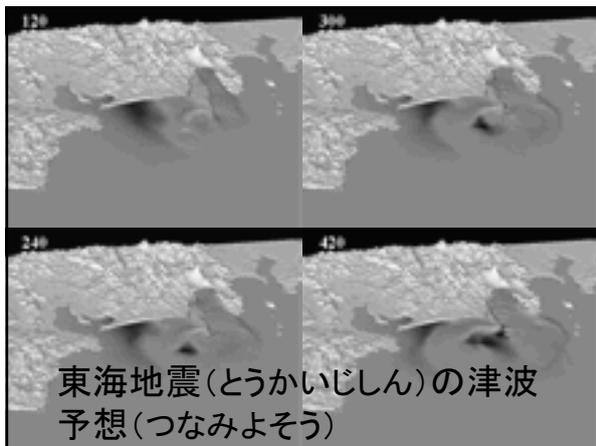
24



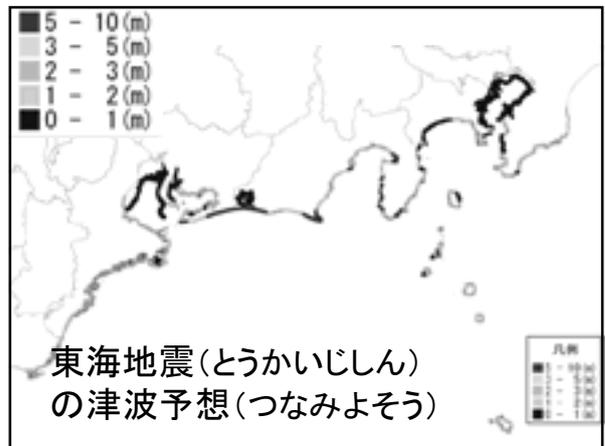
25



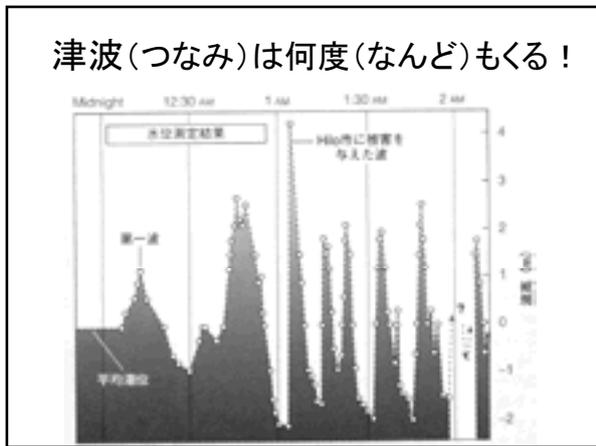
26



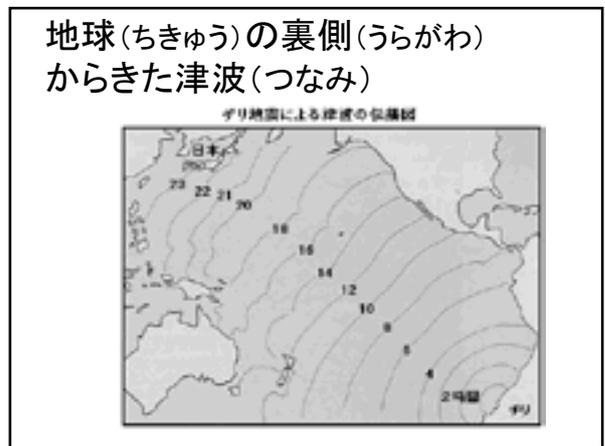
27



28



29



30

[講義のまとめ]

地震はなぜ起こる？

渡辺 明広

講義の目的

- ・地震と津波の起こるしくみについて知る。
- ・地震が起こると、いろいろな被害のあることをイメージできて、必要な対策や準備ができる。

講義の内容「地震と津波」

- ・阪神・淡路大震災の再現ビデオ (制作：阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター)
- ・地震はなぜ起きるか？ 地下で何が起こるのか？
地球の表面は何枚かの硬いプレートという岩板でおおわれている。このプレートが動いて、隣のプレートとこすれ合い摩擦によって地震が起きる。日本はプレートが複雑に重なっている所に位置しているので地震が多い。
- ・阪神・淡路大震災はどのようにして起こったか？ ー地震波の分析 (コンピュータ画像)
地下で断層がずれて、地表まで出てきた。ほんの17、8秒のことだった。地震は断層がずれることによって波が伝わることによって起きる。
- ・震度とマグニチュード
地震波が伝わっていく時の、それぞれの場所での揺れが震度。マグニチュードは地震が発生した場所での、地震そのものの大きさを示す。
東海地震は揺れはじめから、揺れ終わりまで2分くらいかかると予想される。
- ・地震波が震源から周りに伝わる様子 (中越地震のコンピュータ画像)
- ・スモールワーク (実習) 「地震の波の伝わり方を調べる」
兵庫県南部地震における地震発生から、各地で揺れ始めるまでの時間を20秒間ごとに、図中の地名○の部分で線で結んでいく。ー神戸から東京までだいたい1分ぐらい。地震の波がどのように広がったかが分かる。
- ・「緊急地震速報」
2007年10月1日からはテレビで「緊急地震速報」始まる。電波が地震波よりも速いことを利用したもので、こういうイメージが大切である。
- ・東海地震について
東海地震はフィリピン海プレートとユーラシアプレートの境で発生する。静岡県内の多くの所で震度6強や震度7の揺れになると予想されている。
どのようにゆれるか (コンピュータ画像)
御前崎から地震波が静岡に届くまで10秒。電波で3秒後に伝えられる。したがって、7秒でできること、たとえば、ガスの元栓を閉める、窓を開ける、ヘルメットをかぶる、避難路を確保する、などをして、自分の身の安全を図る。
- ・津波はなぜ起こる？
海底で地盤が盛り上がる、それが海を揺らして津波が起きる。津波は海底から海面まで、何千メートルでもすべて揺れる。巨大な段差ができる。それが横に伝わって行くのが恐ろしい。
3年前のインド洋大津波 (コンピュータで再現) (ビデオ)
東海地震で津波予想 (コンピュータ画像)
静岡には3～4分で到着する。津波は何度も来るので、持ち物を家に取りに戻るのには絶対にやめる。

半日ぐらい近づいてはいけない。地震波は来なくても、津波は来ることがあるので注意。

・地震への備え

「静岡県地震防災センター」を検索すると、自分の住んでいる場所でどれぐらい揺れるのか、火事がどのくらい起きるのか、津波はどうか、が調べられる。

スモールワークの様子（学びのパートナーによるアンケートの記述から—原文のまま）

- ・ペアの人と協力して楽しく取り組めた。
- ・作業がけっこう難しく、途中で止めた（ペアもあった）。
- ・数字と数字の間のどの辺りが当てはまる数字か、線をどう引けばいいのか、教えるのが難しかった。
- ・たとえば、25（秒）は20（秒）より大きいのか、小さいのか、ここを線で結ぶことを確認しながら、あくまでもご本人がやれたらいいな、と思いやった。
- ・線をどう引けばいいのか、簡単な言葉で教えてあげました。
- ・活動がむつかしかったので、少し工夫してやり方を変えた。
- ・講師の先生からの指示をもう一度丁寧に教える援助をした。
- ・専門用語が多かった。細かな説明がなかったので少し理解がしにくかったのではないかと思った。
- ・映像が多かったので、あきずに見れたようだ。



講義を聴いて

- ・小山先生は、講義の冒頭で「地震は、平和な時間を悪夢の時間に変える。その日のために、また、被害をできるだけ少なくするために、イメージ・トレーニングをしておくとい」とおっしゃった。いろいろな明日に備えるための学びを、日常の生活の習慣にしてほしい。
- ・災害に備えての学習というと、防災グッズの準備をしたり、避難場所を知っておくといったことが多く、地震や津波の発生メカニズムを理解するといったことは少ないようだ。学術的な内容の理解は簡単ではないが、地球の不思議、大地のふしぎ、そして自然に対する畏怖（おそれ）を感じさせるには十分である。人間の力ではどうにもならないもの凄さがあることを知り、謙虚な姿勢になることが、防災のために最も重要なのではないだろうか。
- ・この講義の中で視聴できたビデオやコンピュータ映像は迫力があつた。繰り返し映し出される地震波は地震の伝わる速さの凄さを実感させた。スクリーンに釘付けになる様子やかたずを飲んで見ている様子であった。
- ・専門用語は少し難しかったようである。講義の合間に、学びのパートナーから補足の説明をしたりすることも必要であろう。
- ・講義の中でも紹介があつた「静岡県地震防災センター」のホームページには、地震の知識（なぜおきるの？）や地震対策情報の紹介がイラストで分かりやすく説明されている。今回の受講をきっかけに、自発的な学びの発展を期待したい。

【講義③】

コンビニの秘密

伏見 一茂

SEVEN-ELEVEN JAPAN
2007/10 長野・山梨・静岡ZO

セブン-イレブン・ジャパン説明資料

1

SEVEN-ELEVEN JAPAN
2007/10 長野・山梨・静岡ZO

コンビニの出発点

実は、1927年、このアメリカの一軒のお店がコンビニの出発点です。さて何屋さんでしょうか？

正解は、「氷屋さん」でした

当時、16時間営業していた氷屋さんにパンや牛乳も扱って欲しいという声からコンビニが始まりました

2

SEVEN-ELEVEN JAPAN
2007/10 長野・山梨・静岡ZO

セブン-イレブンの由来

1946年には、朝7時から夜11時まで営業するチェーンとして「7-ELEVEN」という店名になりました

1971年には、多くのお店で24時間営業を開始し、注目を集めていました

3

SEVEN-ELEVEN JAPAN
2007/10 長野・山梨・静岡ZO

日本のセブン-イレブン

では、日本のセブン-イレブンはいつ、どこにできたのでしょうか？

では、1号店の開店初日に最初に売れた商品は何でしょうか？

正解は800円のサングラスでした

1974年5月、東京都江東区豊洲に1号店オープン

ちなみに、1号店は現在も営業しています

現在の豊洲店

4

SEVEN-ELEVEN JAPAN
2007/10 長野・山梨・静岡ZO

セブン-イレブン クイズ!

これでセブン-イレブンがまるわかり!! みんなで考えてみよう!!

- Q1. セブン-イレブンは現在日本に約何店舗あるの？
- Q2. 1年間に全国のセブン-イレブンには何人のお客様が来るの？
- Q3. お店には、何種類の商品が置いてあるの？
- Q4. おにぎりは全国で1年間に何個くらい売れるの？
- Q5. おでんが一番売れるのはいつ？
- Q6. なぜセブン-イレブンのアイスクリームケースにはフタがないの？
- Q7. 1日の時間帯ごとに売場が変わるって本当？
- Q8. 地域によって商品が違うって本当？

5

SEVEN-ELEVEN JAPAN
2007/10 長野・山梨・静岡ZO

Q1. セブン-イレブンは現在日本に約何店舗あるの？

正解)
11,837店
(34都道府県に出店中)

1位	東京都	1540店
2位	神奈川県	832店
3位	埼玉県	829店
4位	北海道	824店
5位	千葉県	736店
6位	静岡県	460店

2007年9月末日現在

6

SEVEN-ELEVEN JAPAN
2007/10 長野・山梨・静岡ZO

セブン-イレブンの店舗数

総店舗数 11,837 店

静岡県の店舗数推移

年	96年	97年	98年	99年	00年	01年	02年	03年	04年	05年	06年
店舗数	286	307	324	337	344	351	371	392	412	432	446

2007年9月末日現在

7

SEVEN-ELEVEN JAPAN
2007/10 長野・山梨・静岡ZO

セブン-イレブン・ジャパンのご紹介

セブン-イレブンはいま、日本を中心として世界で32,801店のネットワークを展開

*店舗数データは2007年9月末時点

17の国と地域に展開

国名	店舗数	国名	店舗数
日本	11,837	シンガポール	388
アメリカ	6,167	オーストラリア	398
台湾	4,588	フィリピン	291
タイ	4,065	ブルウエイ	100
韓国	1,613	スウェーデン	77
中国 (内北京)	1,277	トルコ	73
	(83)	デンマーク	59
マレーシア	854	ブラジル	14
メキシコ	709		
カナダ	463	合計	32,801

8

2007 / 10 長野・山梨・静岡ZC

Q2. 1年間に全国のセブン-イレブンには何人のお客様が来るの？

正解)
約44億人

1日の平均来店客数
約1000人

×

セブン-イレブンの店舗数
約12000店

×

365日

||

約44億人

世界の2/3以上の方が
セブン-イレブンに来店！！

9

2007 / 10 長野・山梨・静岡ZC

Q3. お店には、何種類の商品が置いてあるの？

正解)
約2500種類

2500種類のうち、
約半分が
セブン-イレブンの
オリジナル商品です

しかも毎週、約100種類の新商品が発売！！

約70%の商品が1年間で入れ替わります

10

2007 / 10 長野・山梨・静岡ZC

Q4. おにぎりは全国で1年間に何個くらい売れるの？

正解)
約12億5千万個

日本全国民が
1年間に約8個
購入している計算になります

ちなみに人気のおにぎりは？

おにぎりランキング

1位	手巻おにぎりツナマヨネーズ
2位	手巻おにぎり鮭
3位	焼おにぎり醤油味
4位	手巻おにぎりたき梅
5位	直巻おむすびツナマヨネーズ

(東海地区8月20週)

皆さんの好きなおにぎりはありましたか？

11

2007 / 10 長野・山梨・静岡ZC

Q5. おでんが一番売れるのはいつ？

正解)
9月末～
10月上旬

最も気温の低い12月、1月ではなく
「体感気温」の下がる
9月末から10月上旬が一番売れます
※体感気温とは前日までの気温差によって
肌で感じる寒さ・暑さのことです

ちなみに、セブン-イレブン全店で
1年間に売れるおでんの数は
2億8900個です
(2006年度)

皆さんは1年間に何個召し上がってますか？

12

2007 / 10 長野・山梨・静岡ZC

Q6. なぜセブン-イレブンのアイスクリームケースにはフタがないの？

正解)
あのアイスケースの内側の上部には、片側に吹き出し口が、反対側には吸いこみ口があり、アイスの上を-26℃以下の冷たい空気が流れています。つまり、冷たいエアカーテンによって、アイスケースにふたをしている状態になり、中のアイスが冷たく保っているのです。

お客様が、見やすいように
取りやすいように開発された
セブン-イレブン独自の
アイスクリームケースです

13

2007 / 10 長野・山梨・静岡ZC

Q7. 1日の時間帯ごとに売場が変わるって本当？

正解)
本当です

お客様が食べたいと思うものは、
時間によって違うものです。
セブン-イレブンでは朝/昼/夜でそれぞれ
売れる商品の売場を広げています

サンドイッチ
=朝によく売れる

デザート
=昼によく売れる

おかずおつまみ
=夜によく売れる

お客様が食べたいと思う時間帯に合わせて、
売れる商品の売場を広げて目立たせています

14

2007 / 10 長野・山梨・静岡ZC

Q8. 地域によって商品が違うって本当？

正解)
本当です

あの「おでん」も地域ごとに
つゆや具材が違います

静岡では
かつお・昆布だしの
地域でよく使われる
「ムロ節」を加えて
います

その地域ならではの
食材や調味料を使って
商品を開発しています

15

セブン-イレブンの出店方式

2007 / 10 長野・山梨・静岡ZC

セブン-イレブンでは、ひとつの地域に集中して出店していく
「ドミナント(高密度多店舗出店)方式」をとっています

この方式をとるため、
沖縄や四国など
いまだに出店していない
地域があります
(2007年8月末現在全国34都府県に出店)

ではなぜ、一定のエリア内に
集中して出店するのでしょうか？
その理由を4つ考えてみましょう

16

セブン・イレブンの出店方式

2007 / 10 長野・山梨・静岡ZO

正解は、以下の4つです

- チェーンの認知度を上げる
お店が集中してたくさんあることで、セブン・イレブンの知名度を一気にあげることができる
- 来店頻度を上げる
「また行きたいと思った時に近くにたくさん店があることで次の来店につながる
- 物流効率を上げる
店どうしの距離やお弁当などを製造するメーカーさんからの距離が近くなり早く商品をお届けすることができる
- 広告効率を上げる
地域にあわせたTVCMなどの広告を入れることができる

17

静岡県工場について

2007 / 10 長野・山梨・静岡ZO

工場の所在地

お弁当工場などは出店数に合わせて各エリアに分散して配置しています

もし一つの工場が生産できなくなっても他の工場がカバーできる仕組みになっています

18

セブン・イレブンの物流システム

2007 / 10 長野・山梨・静岡ZO

創業当時 したがし、創業当初はお弁当やお惣菜商品を送り出したため、一日平均約70台ものトラックが送付を回っていました

現在 今ではセブン・イレブンの、配達できるお弁当やお惣菜商品に「共同配送システム」を導入しました。

平均8.9台/日

セブン・イレブンでは共同配送センターにすべての商品が集められ、そこからお弁当やドリンク、お菓子などトラックを分けて配送しています

ではここで問題です。
セブン・イレブンでは生産からお店に届くまで適切な〇〇帯ごとにトラックを分けて配送しています。「〇〇帯別共同配送」とも呼ばれているこの〇〇に入る言葉は？

19

セブン・イレブンの物流システム

2007 / 10 長野・山梨・静岡ZO

セブン・イレブンでは適切な「温度」帯に分けて配送しています。これを温度帯別共同配送と呼んでいます

こうすることで、安心して新鮮な商品を提供できているわけです

20

コールドチェーン

2007 / 10 長野・山梨・静岡ZO

セブン・イレブンでは野菜を農家から店舗まで一貫して低温で輸送しています。この仕組みを「コールドチェーン」と呼びます

低温に保つことで野菜の美味しさ・栄養がキープされています

21

新・総合生活産業を目指して

2007 / 10 長野・山梨・静岡ZO

グループのシナジーパワーを發揮!!

流通系初の電子マネー「nanaco」がスタート!!

セブン&アイHLDS. は7つの事業領域を中心に世界で1日2700万人のお客様をお迎えしています

高品質で低単価なオリジナル商品「セブンプレミアム」を開発!!

今後も「新・総合生活産業」を目指してお客様のニーズにお応えするサービスを提供し続けていきます

22



セブンイレブン クイズ!

これでセブンイレブンがまるわかり!! みんなで考えてみよう!!

Q1. セブンイレブンは現在日本に約何店舗あるの?
げんざいにほん やくなんてんぼ

日本全国で 約

店舗

ちなみに静岡県は...

店舗

Q2. 1年間に全国のセブンイレブンには何人のお客
ねんかん ぜんこく なんにん きやく
さまが来るの?

1日の平均来店客数 約 _____ 人

×

セブンイレブンの店舗数 約 _____ 店

×

365日=

約

人

Q3. ^{みせ} お店には、^{なんじゆるい} 何種類^{しょうひん} の商品^お が置いてあるの？

約

種類

Q4. ^{ぜんこく} おにぎりは全国^{わんかん} で1年間^{なんこ} に何個^う くらい売れるの？

約

個

Q5. おでんが一番売れるのはいつ？

月～ 月

Q6. なんでセブンイレブンのアイスクリームケースにはフタがないの？

Q7. にち 1日の時間帯ごとに売場がじ かんたい変わるって本当？
うりば か ほんとう

朝によく売れる商品



昼によく売れる商品



夜によく売れる商品



Q8. ち いき 地域によって商品がしょうひん違うって本当？
ちが ほんとう

セブンイレブンでは、ひとつの地域に集中して出店していく

「ドミナント(高密度多店舗出店)方式」をとっています。

ではなぜ、一定のエリア内に集中して出店するのでしょうか？

その理由を4つ考えてみましょう！

①

②

③

④

セブンイレブンでは共同配送センターにすべての商品が集め
られ、そこからお弁当やドリンク、化粧品などトラックを分けて
配送しています。

ではここで問題です。セブンイレブンでは生産からお店に
届くまで、適切な〇〇帯ごとにトラックを分けて配送していま
す。「〇〇帯別共同配送」とも呼ばれているこの〇〇に入る
言葉はなんでしょう？

[講義のまとめ]

コンビニの秘密

徳増 五郎

講義を設定するにあたって

静岡県知的障害者就労研究会のフォーラムで、本人部会を実施している。そのメンバーに「大学で学ぼう」の講義内容の希望を聞いたところ、コンビニエンスストアが話題となった。そこでは「短期間に多数の店舗を展開しているからには、何か儲かる秘密があるに違いない。」「その経営戦略について知りたい!」との声が聞かれた。

そこで、社員の方から直接お話しを伺う機会を設定し、知的好奇心を喚起する学習活動をとおして、企業が大切にしていることに迫りたいと考えた。

<重視した点>

- ①講師が本物（コンビニエンスストアを経営されている方）であること。
- ②講師からだけでなく、事前に店舗取材した数名の受講生による情報提供を行うこと。
- ③学習者参加型のクイズコーナーを設け、“学びのパートナー”である大学生と社会人との共同作業を取り入れること。

講義の内容

- ・店舗で販売されている商品の紹介。
- ・セブンイレブンの歴史
 - ①コンビニの出発点。もともとは一軒の氷屋さんだった。コンビニエンスとは「便利な」という意味。
 - ②セブンイレブンの由来。営業時間がAM7:00～PM11:00だったことから。
 - ③日本にコンビニができたのは、いつ・どこに。第1号店は、東京都江東区豊洲店。
- ・セブンイレブンまるわかり・・・セブンイレブンクイズ!
 - ①現在日本には約何店舗あるの？

約1万店舗。静岡県には450店舗ほどで、全国8位の出店数。
 - ②一年間に、日本全国のセブンイレブンには何人のお客さんが来るの？

約44億人。1店舗1,000人×365日。
 - ③お店には、何種類の商品が置いてあるの？

約2,500種類。1週間に8種類くらいの割合で新商品が入る。
 - ④おにぎりは、日本全国で1年間に何個くらい売れるの？（平成15年度実績）

約12億5,000万個。日本全国で平均すると一人当たり8個ということになる。
一番人気はツナマヨネーズ。
 - ⑤おでんが一番売れるのはいつ？

9月末から10月上旬。人が気温の変化を感じる時期がよく売れる。
 - ⑥なぜセブンイレブンのアイスクリームケースにはフタがないの？

お客さんが見やすく取り出しやすいように、フタがない。融けないように冷気が出ている。
 - ⑦一日の時間帯毎に売り場が変わるって本当？

本当。その時間帯ごとに、よく売れる商品を見やすい場所へ並べる。
 - ⑧地域によって商品が違うって本当？

本当。地域によって味を変えたり、その土地ならではの物を提供したりしている。

・スモールワークその1

セブンイレブンでは、高密度多店舗出店方式を採用している。一定のエリア内に集中して出店するのはなぜか？4つの理由を考えよう。

正解：①チェーンの認知度の向上②来店頻度の増加③物流効率の向上④広告効率の向上

・スモールワークその2

セブンイレブンが、安心・新鮮な商品を提供するために、生産段階からお店まで、すべての段階で管理しているのは何でしょう？

正解：温度。これにより、配送回数を1日平均9回までに効率化。CO₂の排出量も減らしてる。

スモールワークの様子（学びのパートナーによるアンケートの記述から—原文のまま）

- ・商品を守る側が消費者に買ってもらうために商品開発、温度、配達エリア等様々な工夫がされているということを知ってとても勉強になった。
- ・楽しそうに取り組んでいる人が多いことが一番印象に残った。説明してくれる人に対する受け答えができていて盛り上がった。
- ・コンビニはよく利用しているのに知らないことばかりで聞いていておもしろかった。
- ・どのようにしてお客さんに買ってもらうのかのしくみやおにぎりが年間どれくらい売れるかを具体的な数字で説明していただいてわかりやすくおもしろかったです。
- ・クイズの答えをうながしたり、一緒に話をして活動に取り組んだりすることができた。
- ・コンビニの戦略のような工夫が興味深かった。



講義を聴いて

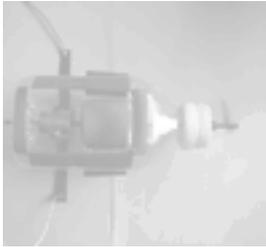
- ・冒頭述べたように、日常生活の中で感じた疑問が題材になっていたのも、受講生も学びのパートナーもたいへん興味深く講義に参加することができた。
- ・クイズ形式での応答は受講生、学びのパートナーとも参加しやすかった。講師の投げかけに対して思い思いの答えを自発的に発表する場面が多く見られた。身近な存在であるコンビニエンスストアを取り上げたこともこのような積極性につながったと考えられる。
- ・今回初めての試みとして、一部の受講生が、事前に取材し講義の中でそのことを発表した。講師から教えていただくだけでなく、自主的に学ぶ機会を設けることができたことは、学びの質を高めるという点で意義深かったと考える。
- ・伏見先生をはじめ、当日参加して下さった講師の先生方、事前に見学させていただいた店舗の皆様大変お世話になった。当日の講義では、実際に店舗で販売している商品及びグラフやイラスト満載のプレゼンテーションをご用意くださり、受講生のイメージを膨らめることができた。講師の方々が店員用ユニフォームで来てくださったことも、受講生の気持ちを引きつける効果があった。事前の店舗見学では、実際に使用している用具や陳列棚を使って丁寧に教えてくださった。事前の打ち合わせから、本講座の趣旨をご理解くださり、受講生に分かりやすく、かつ楽しい活動に取り組むことができるようご配慮いただいた。あらためて感謝申し上げます。

【講義④】

モータって何だ？
～ペットボトルモータをつくらう！～

増田 好治・今田 真一

ペットボトルモータ



ほうしん ぎしゆつ きようしゆく かいはい はつ けん ぎやう かい
NPO法人技術教育開発研究会

しずおか だいがく めいよき じやうじゆ
静岡大学名誉教授

こうがく はかせ ますだ よしはる
工学博士 増田 好治

1

モータ クイズ

おも はたら でんきせいひん
Q1: モータが主な働きをしている電気製品は？

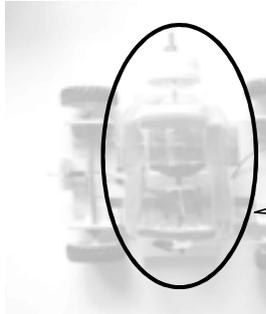
A: せんぷうき B: テレビ

つく ひと
Q2: モータを作った人はだれ？

A: エジソン B: テスラ C: ダヴェンポート

2

こんなこともできる！



くるま

あとで
ペットボトルモータ
をつくるよ

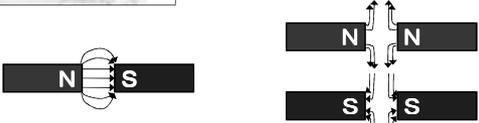
3

かいてんげんり モータの回転原理(モータのしくみ)

じりよくせん せいしつ
磁力線の性質



きよく で きよく はい
①N極から出て、S極に入る



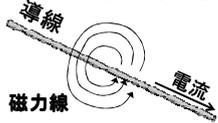
きよく きよく ひ あ
②N極、S極が引き合う

おな きよく はな
③同じ極は離れる

4

みぎ ほうそく 右ネジの法則

どうせん でんりゆう なが じりよくせん
Q3: 導線に電流が流れると 磁力線ができる



じしゃく とき おな
磁石(N、S)の時と同じ

じしゃく あいだ どうせん
Q4: 磁石(N、S)の間に導線をおき、
電流を流したらどうなるだろう



5

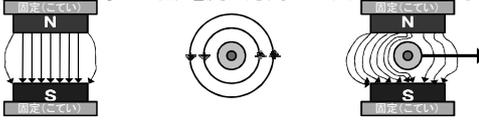
ひだりて ほうそく フレミングの左手の法則

☆Q4のヒント☆

じりよくせん ほうこう (1)磁力線の方向

でんりゆう ほうこう (2)電流の方向

ちから ばら ほうこう (3)力の働く方向



ちから ばら ほうこう (3)力の働く方向

じりよくせん ほうこう (1)磁力線の方向

でんりゆう ほうこう (2)電流の方向

ひだりて
左手

6

じしゃく あいだ どうせん でんりゆう なが
Q4: 磁石(N、S)の間に導線をおき、電流を流したらどうなるだろう

☆ヒント☆



ちから つづ とだ かいてん
この力を続けて取り出して回転するようにしたものがモータです

7

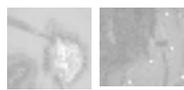
つく かた ペットボトルモータの作り方

ほう ようい
コイルと棒を用意する

き かいま
木のサイコロにコイルを50回巻く

ぜんたい かいま
全体でコイルを100回巻く

8

	せいりゅうし せつちやくざい こてい 整流子を接着剤とハンダづけで固定
	じしゃく ペットボトルに磁石をつける
	とつ ペットボトルにコイルを取り付ける
	うえ した こてい かんせい 上と下を固定して完成！

9

でんち 電池をつけて、まわしてみよう！

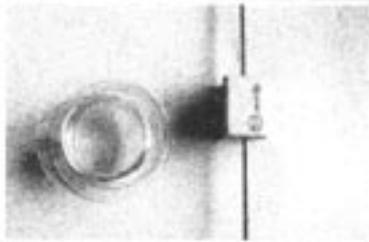
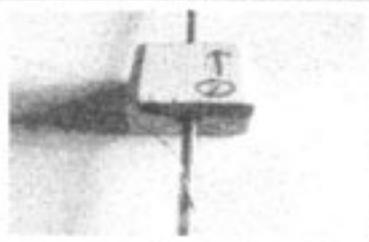
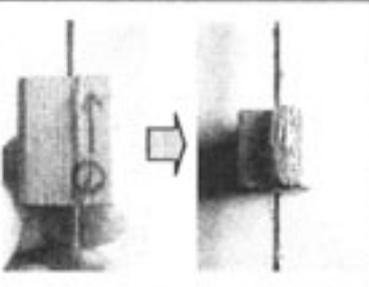
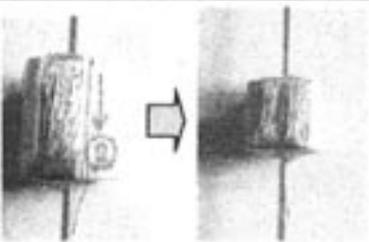
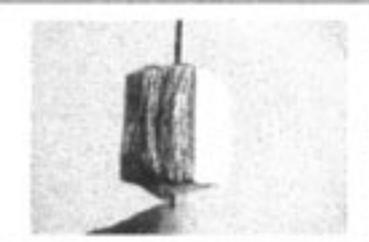

10

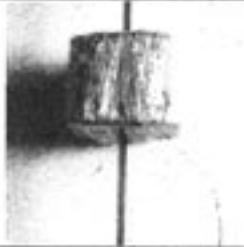
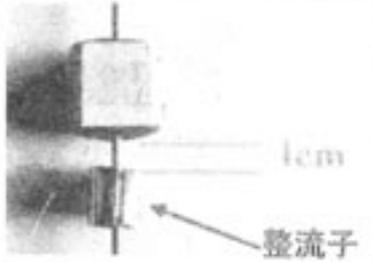
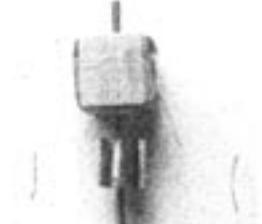
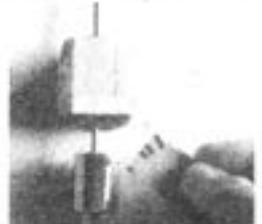
第5回 学ぶって楽しい！ —大学で学ぼう—

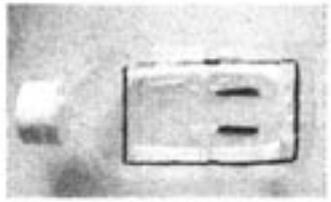
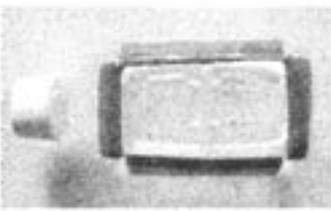
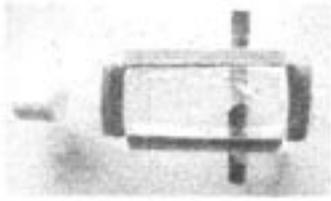
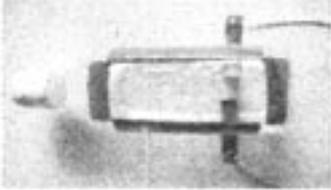
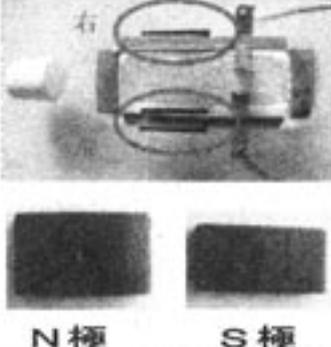
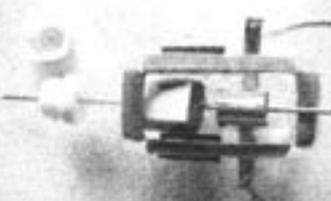
講義2 「モーターってなんだ？～ペットボトルモーターをつくろう！～」 増田好治先生

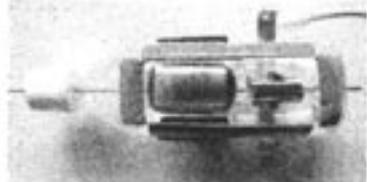
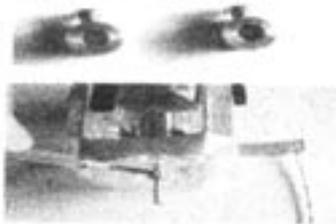
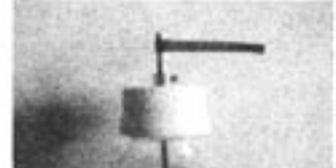
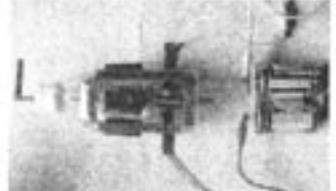
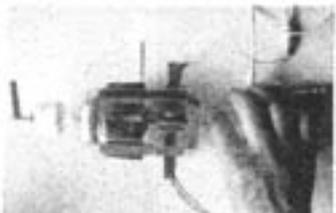
こうていひょう

<ペットボトルモーター工程表>

じゅんばん 順番	しゃしん 写真	かた やり方	チェック
1		コイルと棒を用意する	
2		コイルの先をセロテープで棒にとめる	
3		↑①の方向にコイルを50回巻く	
4		↓②の方向にコイルを50回巻く (合計100回)	
5		真ん中にセロテープを一周巻き、コイルをとめる	

6		<p>ぼう 棒にとめたコイルの先^{さき} のセロテープをとる</p>	
7	 <p>1cm 整流子</p>	<p>せいりゅうし ぼう とお 整流子を棒に通し、コイルと の間を約1cmにする</p>	
8		<p>せいりゅうし そこ 整流子の底をアロンア ルファでとめる</p>	
9		<p>せいりゅうし きより あ 整流子との距離に合わせ てコイルの先端^{せんたん}を切る</p>	
10		<p>せんたん かみ コイルの先端を紙やすりで 削^{けず}る (エナメルをとる)</p>	
11		<p>せんたん せいりゅうし コイルの先端を整流子 にハンダ^つ付けする</p>	<p>せんせい 先生が やります</p>

12		ペットボトルの一面を カッターで切る	○
13		切り口にビニールテー プを貼る	○
14		ブラシ（燐青銅）を と取り付ける	○
15		ブラシに電気コードを と取り付ける	○
16		N極、S極に気をつけて、 両側に磁石を取り付ける 右：内側に2つ、外側1つ 左：内側に2つ、外側1つ	
17		回転子をペットボトル の中に入れる	

18		ペットボトルのキャップを閉める	
19		整流子をペットボトルの底に合し、外から固定金具でとめる	
20		ペットボトルの先を固定金具でとめる	
21		ブラシの底をセロテープでとめる	
22		棒の先にセロテープで紙をつける	
23		完成！！ 電池をつなごう	
24		始めだけ、指で棒を回転させよう	

【講義のまとめ】

モータって何だ？ ～ペットボトルモータをつくろう！～

今田 真一

趣旨

受講生の皆さんに、ものづくりの良さを伝えたいと考え、静岡大学名誉教授である増田好治先生にペットボトルモータづくりの講義をしていただいた。ものづくりの良さは以下のとおりだと考えている。

【ものづくりの良さ】

- ・体験的な活動をとおして、知的好奇心を喚起することができる。
- ・苦勞してできた時の完成の喜びやものの価値を実感することができる。
- ・手を動かして自分で工夫するなど、意欲的な態度を養うことができる。
- ・手を動かして思案しながら問題を解決する力を養うことができる。
- ・一つのものに取り組む集中力や忍耐力、強調する態度を育てることができる。

【ペットボトルモータの良さ】

- ・普段、自分たちが使っている身近な電化製品のしくみの一部（モータの働き）を知ることができる。
- ・手を使っての活動を多く設定することができる。
- ・出来上がった時（モータが回転した時）の喜びが大きく、ものづくりの良さを伝えることができる。
- ・今まで学んだことのない内容であり、興味関心の幅を広げることができる。

講義で配慮した点

- ・モータのしくみやペットボトルモータの製作は難しい内容であることが予想されたため、以下の点について工夫をした。

モータで作った車での実演	実際にペットボトルモータを使用した玩具の車を動かすことで、受講生の「作りたい」「動かしたい」という気持ちを掻き立てる。
電化製品等の写真	扇風機やテレビ等、普段使用している身近な電化製品の写真を活用し、興味を持たせる。
クイズの出題	「モータを使用している電化製品はどっち？」など、二者択一のクイズ形式にすることで、興味を持たせる。
PCのパワーポイントによるアニメーション設定	モータの回転原理については、アニメーションを用いて磁力の動きや力のかかる方向などの動きを表現し、説明を分かりやすくする。
詳細な工程表	ペットボトルモータの作り方の手順表には多くの写真を活用する。また、一つの工程の中に二つの作業（行動）が入らないようにして、分かりやすくする。

講義を終えて

【学びのパートナー（共同作業）】

○受講生にとって

- ・スライドを使って写真や動画をみせるなど、できる限りわかりやすい教材を準備したが、モータの仕組みの理解やモータづくりの作業はやや難しいようであった。しかし、受講生二人に対し、学びのパートナーが一人以上ついてくれたので、受講生はすぐに分からないことを質問したり、できないところを手助けしてもらったりすることができた。学びのパートナーの支援で安心したのか、ほとんどの受

講師が、時間を忘れ、モータ作りに熱中していた。

○学びのパートナーにとって

- ・受講生にとっては若干難しい内容であったため、各テーブルの学びのパートナーが受講生に合わせて支援をしてくれた。学びのパートナーの支援の仕方は様々で、受講生の理解に合わせて手を添えて一緒に活動する人、実際に実演してやり方を見せる人、工程表を指さしながら説明する人など、様々であった。障害のあるなしに関わらず、人とコミュニケーションを図るときには相手が何を思っているのか、何を望んでいるのか、どこにつまずいているのか、こちらの言っていることがわかっているのかなど、相手の気持ちを聞いたり、どのような支援が必要か考えたりすることがとても大切である。短い時間ではあったが、ものづくりを通して、受講生とどのようなコミュニケーションを図ることがよいのかを考える機会になり、大変よかったと感じた。



【ペットボトルモータづくりを通して】

○受講生にとって

- ・ほとんどの受講生は工程表をみたり、学びのパートナーのアドバイスを聞いたりしながら、黙々とコイルを巻いたり、真剣にペットボトルに磁石を取り付けたりしていた。予想以上に時間がかかり、時間内（80分間）に仕上げるできない受講生が多くみられたが、講義終了後もみんな自主的に残り、「自分が作ったモータを回したい！」という思いで作業に取り組んでいた。そして、延長すること30分、ほぼすべての受講生が自分でモータを完成させることができた。苦労してできた時の喜びは大きく「まわった！！」「やったー！！」と学びのパートナーと一緒に満面の笑みで喜ぶ姿がみられた。

また、増田先生やアシスタントである私にもできた喜びや感謝の気持ちを伝えてくれた。受講生の真剣に取り組む姿勢、喜ぶ姿、気持ちの良い挨拶（お礼）など、受講生の素直な心に触れることができ、私たちにとっても大変実りのある一時となった。

今回のものづくりを通して、受講生に身近な電化製品のしくみやものづくりの良さが伝われば幸いです。

○学びのパートナーにとって

- ・これからの社会で活躍していく学びのパートナーが、今回の講義をきっかけにして、障害者への理解を深め、障害に関する専門性を高めていってくれることを期待している。

講義をしてくださった増田好治先生より

内容が少し難しいかなと思っていましたので、受講生の皆さんが熱心に取り組んで下さったことを大変嬉しく思います。ものづくりは、知識・技能の総合化です。ものづくりを通して得た感動と喜びをもって、知識すなわち原理・法則を体験的に理解することができます。ですから、内容が知的興味、疑問、つまずきと有機的にかみ合った学習が必要です。その過程で、「知能であり、問題解決能力であり、適性である」といわれる技能が習得されます。今回の体験によって、受講生の皆さんがものづくりに対する興味・関心・知的探究心を深めて下されば幸いです。

【資料編】

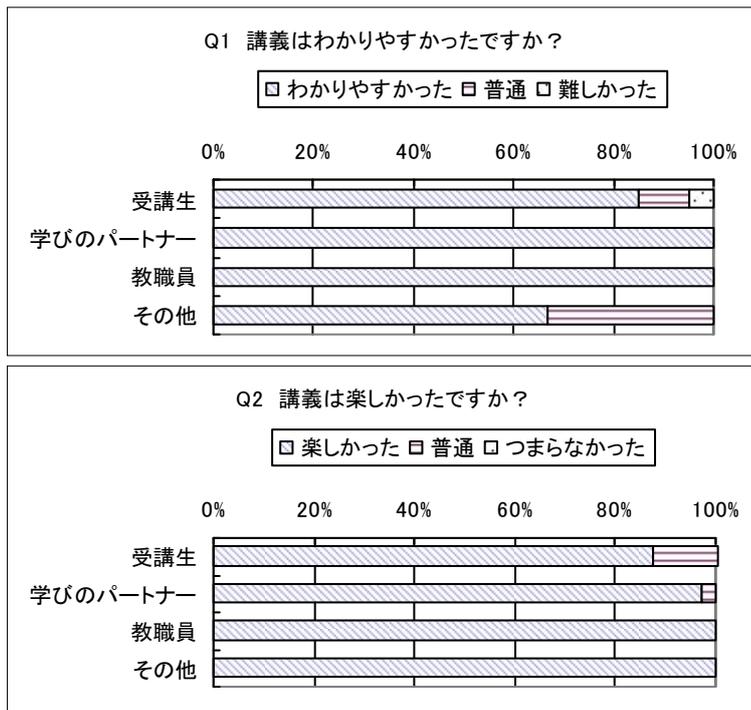
授業後のアンケートのまとめ
学びのパートナーとして、いっしょに受講して
参加者の感想
スタッフ名簿
これまでの「学ぶって楽しい！ー大学で学ぼうー」

授業後のアンケートのまとめ

柴田 美鈴

各講義の終了後に行った4回のアンケートを以下のようにまとめる。

○講義1「アイスブレイクからはじめよう！～心理の世界へようこそ～」 講師：大畑智里先生



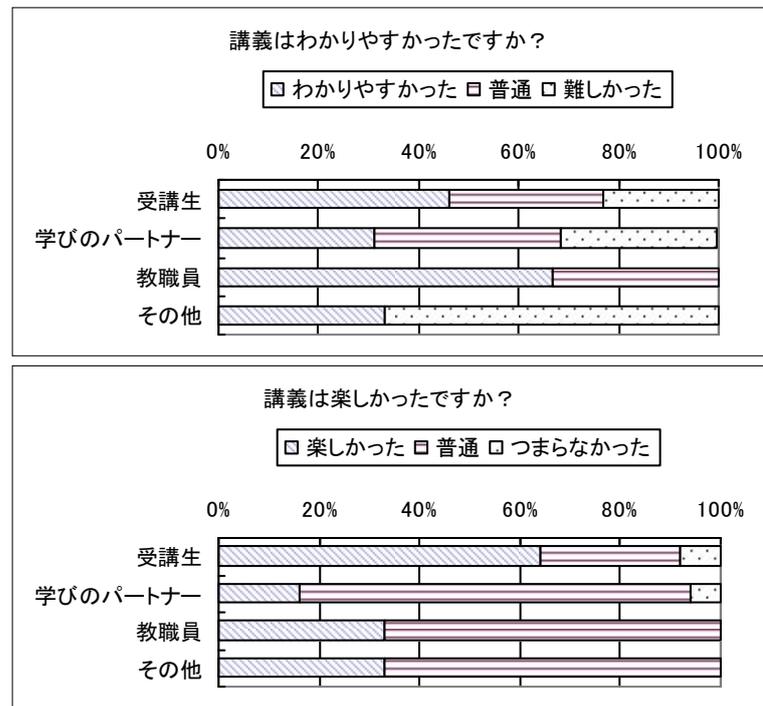
「わかりやすかった」という回答が大変多かった（67%以上）。特に、受講生と学びのパートナーに関しては、「わかりやすかった」の回答が85～100%という高い評価になっている。また、「楽しかった」の回答も88～100%と非常に高い評価を受けた。

自由記述の中にも、「あいこでジャンケンが楽しかった」「最初は緊張していたけど、楽になった」（受講生）、「ゲームや話し合いを通して、受講生と話ができてよかった」「第一印象の大切さがわかった」（学びのパートナー）などがあり、体験を通して人と関わることの楽しさを感じたり、自分自身を振り返る機会になったりしたことがわかる。

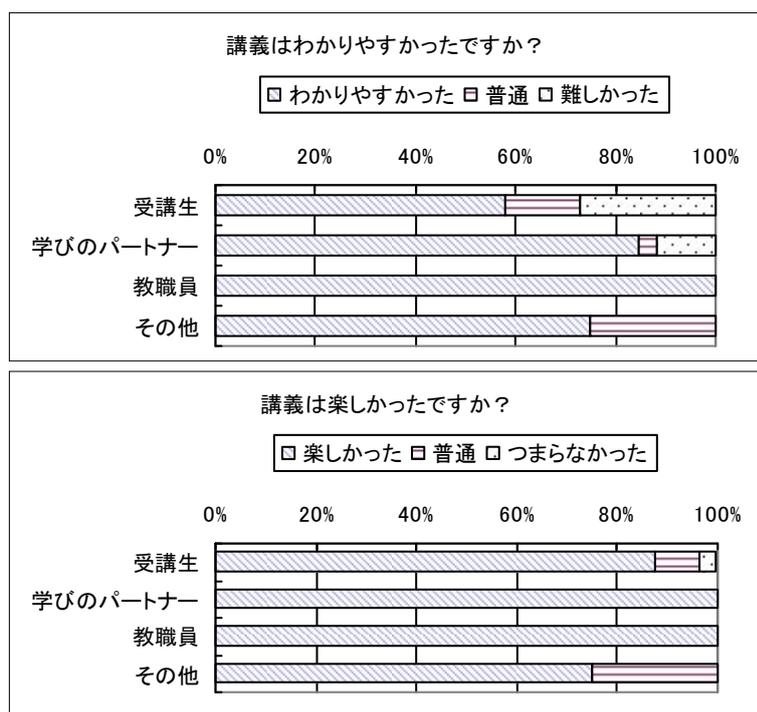
○講義2「地震はなぜ起こる？」 講師：小山真人先生

教職員以外において、「わかりやすかった」が50%を満たないことから、全体的には少し難しい講義であったかと思われる。しかし、受講生と学びのパートナーに関しては、「楽しかった」に16%、64%と差は見られるものの、「楽しかった」「普通」を合わせると、約90%になり、本講義を概ね評価することができると思う。

自由記述を見ると、「地震や津波の怖さを感じた」「勉強になった」（受講生）、「地震の仕組みは難しかったが、地震や津波の怖さはわかった」（学びのパートナー）などがあり、「楽しい」という言葉では表現しにくいですが、映像を含む講義が「地震」についての関心を深める大変貴重なものになったと言える。



○講義3「コンビニの秘密」 講師：伏見一茂先生



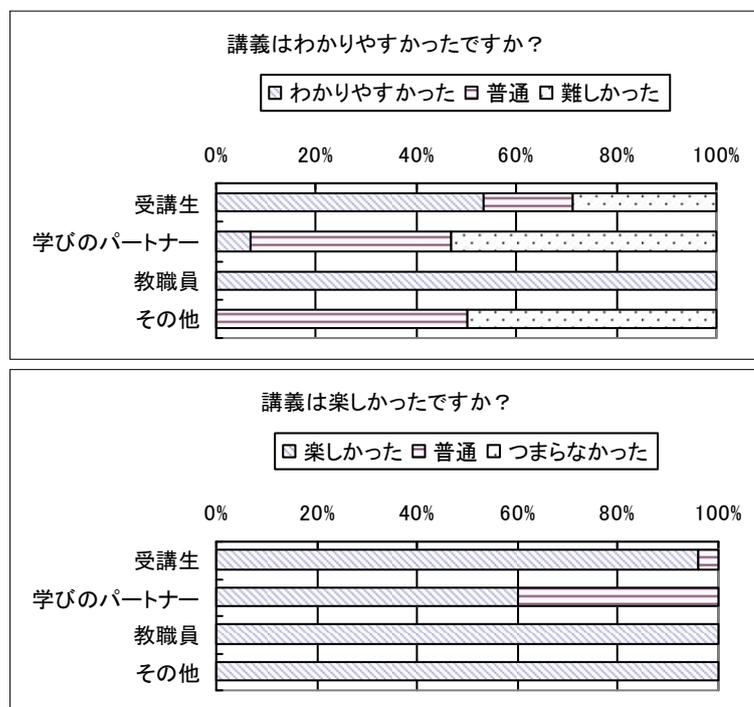
「わかりやすかった」という回答を58%以上得ることができた。特に、学びのパートナーに関しては、「わかりやすかった」の回答が85%という高い評価になっている。また、「楽しかった」という回答も大変多かった。受講生と学びのパートナーに関しては、「楽しかった」の回答が88～100%になっており、両者にとって、知的好奇心を高めるような講義であったと考えることができる。

自由記述の中にも、「おもしろかった」（受講生）、「いつも行っているけど知らなかったことをたくさん知った」（受講生、学びのパートナー）、「驚いた」（学びのパートナー）などがあり、身近なものの仕組みを知る楽しさを感じたことがわかる。

○講義4「モータってなんだ？～ペットボトルモータをつくろう！～」 講師：増田好治先生

「わかりやすかった」が、7～100%と幅広い回答になり、全体的には少し難しい講義であったと思われる。しかし、受講生に関して、「わかりやすかった」に54%の回答を得たことや、全体的に「楽しかった」に60～96%の回答があったことから、本講義を概ね評価することができると思う。

また、自由記述の中には、「難しかったけど、楽しかった」（受講生）、「モータが回ってうれしかった」（受講生、学びのパートナー）、「（受講生と）一緒に作業できて楽しかった」（学びのパートナー）などがあり、モータ作りという作業を通して、受講生と学びのパートナーが支え合いながら学べたことや、出来上がった時の喜びを分かち合うことができた嬉しさがあったことがわかる。



学びのパートナーとして、いっしょに受講して 「学ぶって楽しい！—大学で学ぼう—」に参加した大学生の報告・感想など

渡辺 明広

公開セミナー「学ぶって楽しい！—大学で学ぼう—」には、毎回、教育学部特別支援教育専攻等の学生が社会人と一緒に2つの講義を受講した。講義終了後、学生たちに、学びのパートナーとして、「講義中のスモールワークの取り組み状況」についての報告や感想などを求めるアンケート調査を行なった。

調査の概要

- ・調査対象：静岡大学教育学部特別支援教育専攻等の学生（第4回32名、第5回30名）
- ・調査内容：「講義中のスモールワークの取り組み状況」
- ・アンケート調査の実施期間： 第4回 2007（平成19）年 6月25日～7月6日
第5回 2007（平成19）年 10月28日～11月12日
- ・回答方法：選択肢回答と自由記述を併用。無記名。調査用紙配布、記入後に各自が提出。
- ・回収数：第4回30（回収率93.8%）、第5回26（回収率86.7%）

調査の結果

Q1「あなたは、受講した人達が知的障害のある、なしにかかわらず、講義中のスモールワークに全体としては、一緒に取り組めたと思いますか」（「大変取り組めた」「かなり取り組めた」「ふつう」「あまり取り組めなかった」「ほとんど取り組めなかった」の5段階評定。他に「何とも言えない」もあり。評定をした理由を自由記述）（表1）

表1 Q1「あなたは、受講した人達が知的障害のある、なしにかかわらず、講義中のスモールワークに全体としては、一緒に取り組めたと思いますか」

段階 回	5 大変 取り組めた	4 かなり 取り組めた	3 ふつう	2 あまり 取り組めなかった	1 ほとんど 取り組めなかった	0 何とも 言えない
第4回	5名 (16.7%)	16名 (53.3%)	8名 (26.7%)	1名 (3.3%)	0名 (0.0%)	0名 (0.0%)
第5回	3名 (11.5%)	14名 (53.8%)	8名 (30.8%)	1名 (3.8%)	0名 (0.0%)	0名 (0.0%)

- ・第4回、第5回ともに、「4 かなり取り組めた」が半数を少し超えた。「5 大変取り組めた」と「4 かなり取り組めた」を合わせると、第4回は70.0%で、第5回は65.3%である。「3 ふつう」は3割程度で、「2 あまり取り組めなかった」と「1 ほとんど取り組めなかった」はほとんどいなかった。

<第4回>（自由記述 原文のまま）

「みんな意見を出し合っていたため」「それぞれが、自分達の意見をはっきりと伝えていたから」「ペアの人と協力してすごく楽しく取り組めた」「課題を全てやりきることができたため」「障害のことは特に意識しませんでした」「ほぼ一緒に取り組めたと思うが、難しい作業（地震）は途中でやめてしまったから」「心理の講義の『無人島SOS』では、みんなが協力して、熱く、話し合うことができた」「じゃんけんなど体を使うものはすごく仲よくなれるし、お互い楽しめた。たのしかった」「一緒に話し合うことはできたかな、という気もしたけれど、社会人の方は少し受身だった

かなとも思います」「話し合い活動のときに、上手く話を聞けなかったところがありました」 etc.

<第5回> (自由記述 原文のまま)

「近くの席の人どうし話しながら課題に取り組んでいる姿が多く見られたので」「全て私がやるわけではなく、できそうなどころは知的障害をもつ方に任せた。私も手伝ったが、しっかりできた。できないところは自分から無理そうだと伝えてくれたので、そこは私がやった」「内容が少し難しいものだったので、必然的に協力する形になったと思います」「隣に座った人とは、話をしたり学生ボランティアに声をかけてくれたりしたが、遠くに座った人はあまり話せたりできなかったと思う」「みんなで相談をしたりモータ作りがうまくいった人にコツを聞いたり協力しながら取り組んでいると思えたから」「手助けしすぎたかもしれません」「どこまで本人ができるのか、どこからが補助が必要なのか、見極めることができなかった」 etc.

Q2「あなたは、受講していた知的障害のある人に、どんな場面で、どんな援助や配慮をしましたか。援助をした人はできるだけ具体的に書いてください。特になかった人は『なし』と書いてください」(自由記述)

講義中の援助内容や方法、援助をした際に配慮したことに関及した回答について、2回分を以下に集めた(数値は延べ人数)。

- ・56名のほとんどの学生が何らかの具体的な援助をしている。「なし」は8名であった。中には、援助をしたというよりも、いっしょに課題に取り組んだという受けとめをしている様子がうかがえる感想もある。
- ・援助の内容や方法は、<教える・説明する(方向を示す)(アドバイスする)>(19名)、<手本を見せる>(2名)、<一緒に作業をする(補助をする、手伝う)>(10名)、<促す>(5名)、<別の方法であることを促す>(2名)、<問い掛ける・声掛けをする>(8名)、<ヒントを出す>(2名)、<共感する(うなずく)>(1名)であった。<質問に答える>や<講師の話についての理解の程度を聞く(探る)>といった援助はなかった。

<教える・説明する(方向を示す)(アドバイスする)>(以下、自由記述 原文のまま)

「今、どこのプリントを行っているか示してあげた」「抽象的な質問(あなたの今の気持ちに○をつけなさいなど)が分かりづらかったようなので、少し具体的に説明を加えました」「地震の講義のsmallワークは難しかったので、先生からの指示をもう一度丁寧に教える援助をした」「地図に線を書くのは少し難しかったようでどうやれば良いのかをアドバイスしました」「モータ作りの講義や説明が若干難しく、わかりにくいようだったので補足説明をした」「セブンイレブンの人の話で、大事な所のメモを見せてあげたりしました(その人が書けなかったときに)」「ワークシートの記入の時には、今どこの問いなのか、あるいは、どう書いたら良いかなどのアドバイスを出した」「漢字の読み方が分からなかったので、プリントに読みがなを書きました」 etc.

<手本を見せる>

「モータの作り方が分からない方に、説明してあげたり手本を見せた」「コイルの作成時には、難しいところを補足説明しながら、身ぶり手ぶりで示した」

<一緒に作業をする(補助をする、手伝う)>

「モータの方はむずかしかったため、ほぼ一緒に活動を進め、手助けをした」「細かい作業で出来なそうな所を手伝った(モータ作業のねじ)」「文字を書き写すのができない人がいたので、書いた」「おにぎりの年間出荷数を計算するとき、ひっさんを書いて一緒にやった」「コンビニの講演では人数や店舗数を計算するのを手伝った」「声がとどきにくい人の発言の補助的な事をした」「セブンイレブンのワークの時、記入するところを忘れてしまった人に、自分がメモをした紙を見せて、一緒に記入をしてあげた。理科の実験の材料を取りに行くなどをした」 etc.

<促す>

「スクリーンに注目を集めたり、課題に注意をひいた」「どのプリントのことを言っているのか分からない時、『これだよ』と見せて、分かるようにした」「アンケート記入の時に、文を読んで、記入をうながした」「講義中にプリントでどこをやっているのか示した」「手をあげてみてはどうですか?と声をかけてみたり、一緒にクイズの答えを相談してみたりした」

<別な方法で促す>

「アイスブレイクでは、順番を付けるのは難しそうだったので、丸をつけるに変えた」「活動がむずかしかったので、少し工夫してやり方を変えた」

<問い掛ける・声掛けをする>

「特にしなないようにしたが、先生がした質問をくりかえし質問した」「分かりますか?など声をかけるように気をつけた」「うまく話せなかったり、話し出せなかった時、その人に話しかけ、ゆっくりと答えをうながすこと」「お話を続けようとしていた時に、講義が始まろうとしていた、そこで前だよと声かけをした」「発言があまり出てこない方には、声かけをして、『どう思う?』と聞いてあげることで、発言しやすくした」

<ヒントを出す>

「地震のワークでは、震源からの波を描いた際に例えば、『この辺が40ですかね』と言いながらそのあとをペンでたどってもらった」「クイズの答えをうながした」

<共感する(うなづく)>

「となりの人が、前の画面に声を上げている時、『そうですね。大変ですね』と、共感することができた」

・援助をする際にはくゆっくりと話す、促す>、<分かりやすく説明をする>、<もう1度説明する>、<相手の意見を聞いた上で接した>、<必要以上に援助はしない>、<できるだけ本人ができるようにした>といった配慮や具体的な援助の方法を取っていた。

「相手の目を見てゆっくり話した」「うまく話せなかったり、話し出せなかった時、その人に話しかけ、ゆっくりと答えをうながすこと」「アンケートに書く場面ではどこに何を書くかをアドバイスした」「コンビニの話で質問の内容があまりよくわかっていないようだったら、わかりやすいように説明し直した」「疑問そうな顔をされていた時に、もう1度、簡単な言葉で説明した」「自分の意見をおしつけず、相手の意見を聞いたうえで接した」「モータを作る時も自分でやってしまうのではなく、口で説明したり、見本を見せたり、一緒に数を数えたりしながら取り組んだ」「必要以上に手を出さず、本当に行き詰まった時に援助するようにしました」「モータの作り方の紙を一緒に読んで、できそうか聞き、ムリそうな所は補助した」「とにかく受講者のペースを乱さないように気をつけました」「地震の秒数によって線で結ぶ作業では、答え(ここここを結ぶ)を教えるのではなく、確認しながら、あくまでも本人がやれたらいいなど思いやった」「スモールワークでは、質問して、その応答に対して再度質問するよう心掛けた」 etc.

まとめ

「知的障害のある、なしにかかわらず、講義中のスモールワークと一緒に取り組めたと感じますか」の問いに、「大変取り組めた」「かなり取り組めた」の割合はかなり高い。多少難しい課題であったことも、かかわりを深め、協働の活動を進めたようである。

「受講していた知的障害のある人に、どんな場面で、どんな援助や配慮をしましたか」の問いには、社会人の自発的な自己表現や主体的な判断を尊重することを前提に、学びのパートナーとして、必要な配慮と具体的な援助はきわめて多岐にわたることが判った。また、自由記述の回答からは、先回りした援助ではなく、相手の様子を見ながら、必要な援助をしようとする姿勢や、相手の理解の程度を推し測るといった、気配りもうかがえた。これらは、知的障害のある人の知的な学びの支援のために必要な配慮と具体的な援助の内容として示唆される。

参加者の感想

高木 亮・田中宏和

【第1回】受講生（卒業生・社会人）アンケートの感想より

講義①「アイスブレイクからはじめよう!～心理の世界へようこそ～」

- うれしかったです。
- もっと勉強して、調べたいです。
- いろいろ勉強になった。とてもよかった。
- きもちよかったです。
- あいこでジャンケンが楽しかった。
- はじめは緊張していたけど、楽になりました。
- ぼそぼそと話をしている人は、はっきりと話をしている人の性格に気持ちを変えればいいなと思いました。
- あいこでジャンケンをやりました。あいこでおもしろかったです。
- 私も牛乳とかアイスになるときがよくおなかが悪くてしまいました。
- 私は人と話すのが苦手なので、今日もものすごく緊張してしまいました。でも講義は楽しかったです。
- 僕は人の話をするのが苦手です。どうすれば人の話が聞けるようになりますか？
- 人とコミュニケーションをとる事が大切だなと思った。
- アイスブレイクで「こころ」のことを知り、エクササイズで相手の人と仲良くできたことを心に残りました。
- 相手の気持ちを知るとき、ちゃんと目を見て話すこと、大事いうのがわかりました。
- 人間関係の基礎が分かりやすくて良かった。もっとくわしく聞きたいです。
- あいこでジャンケンがおもしろかったです。相手の心を読む(?)体験でした。
- 人のコミュニケーションの取り方で相手を思いやる事が大切ということ。
- とってもわかりやすく話をしてくれてありがとうございました。スクリーンでもわかりやすかったです。
- いろいろな人とコミュニケーションがとれることができた。

講義②「地震はなぜ起こる？」

- もっともっと地震のお話を聞かせてもらいたいです。
- 地震のおそろしさやつなみのすごさなどあらためてじっかんしました。
- わかりやすく説明してくれたので少し難しかったこともあったけど良かった。
- 地震はこわいのできをつけようと思いました。地震についていろいろ勉強になりました。
- つなみでこわい物だと思いました。海に行っておこったらもどらないでそのままひなんするようにします。
- 今日の話はとってもわかりやすかったです。じしんはとてもこわいなあと思いました。ぼくも今日の話をさんこうにかぐのこていをしっかりやりたいと思います。
- つなみがどうしておこるかわかった。
- 地震の勉強はもっと調べたいです。
- 準備をしておかなければいけないと思いました（海岸に近づく時々）。

- 地震の基礎が分かってよかった。地震発生のメカニズムを知る事でより理解が深まりました。
- 私は焼津にすんでいます。焼津も清水、沼津と同じように津波がおきるのですか。今日はとても良い勉強になりました。
- とちゅうまでしかきけなかったけど、地しんのすごさにびっくりしました。物とかたおれたすがたみた時こわかった。

[第2回] 受講生（卒業生・社会人）感想文より

講義①「コンビニの秘密」、講義②「モーター作り」

○秋山隆文さん<養護学校 卒業生>

僕は、今回の講義で、コンビニの事を勉強しました。コンビニの歴史は始まり、クイズ形式で店舗数、来客数、売れ筋や流通システムなどを学びました。

僕は、学校行事や部活に行く時や、両親が旅行に行っていて留守の時によくコンビニを利用します。今回取り上げたセブンイレブン以外にも、サークルK・ミニストップ・ファミリーマートなどにも行きます。今回の講義で、コンビニは奥が深いと思いました。

○渥美智子さん<養護学校 卒業生>

私は、今回は初めて、参加したんだけど、コンビニのことは、とても勉強になりました。知らない事とかも、たくさん、ありました。

モーター作りは、すごい大変でした。コイルのまくのが、むずかしくて時間が、かかってしまいました。一緒にテーブルの大学生が、最後まで親切に優しく、教えてくれたので、うれしかったです。

これから参加したいです。先生、これからもさそってください。楽しみにしています。

○吉井 亮二さん<養護学校 卒業生>

モータのしくみを調べる授業では、とてもおもしろく、モータのしくみについて勉強することができました。また、次に同じような授業があるときには、また受けてみたいという気持ちになりました。とても楽しく学ぶことができました。ありがとうございました。

○石田友紀さん<養護学校 卒業生>

10/28日、今日、渥美さんと石上君と3人で静大に行って、「コンビニの秘密と、モーター作り」(ペットボトル) 始めに、コンビニ！で伏見さんから説明を聞き、始めは眠たかったせいもあって、まったくわからなかったけどだんだんわかってきたきがした。

今まで知らなかったコンビニの裏がわかった。(歴史も)

次に、モータ作り。これもまた始めに増田さんの話を聞いた後、ペットボトルモータを作りました。増田さんの話が分かりやすかった。モータを作るのが大変だったけど楽しかった。

今度は薬の事を勉強したい。どういう薬があるか、薬のきくわけなど。

○久田守英さん<養護学校 卒業生>

～モータ作りに挑戦して～

コイルと棒を準備をして、コイルの先をセロテープ棒をとめて、①の方向にコイルを50回巻いて、②の方向にコイルを50回巻いて(合計100回) でした。真ん中にセロテープ一周巻いて、コイルをとめた。棒にとめてコイルの先のセロテープをとった。整流子を棒に通し、コイルと間を約1cmにする。整流子の距離に合わせる、コイルの先端を切る。コイルの先端を紙やすりで削り、(エナメルを取る)、ペットボトルモータを作ろうで増田好治先生に説明をしっかりと聞きました。電池をつないで完成で指で棒を回転させていました。

皆さんと一緒に作り、本当にうれしい、ありがとうございました。

これまでの「学んで楽しいー大学で学ぼうー」

五條 由美子

2005年度 第1回（通算：第1回）

	講義 1	講義 2
講義名	「科学って面白い～シャボン玉って面白い～」	「人間が創る楽しさをとりまく世界」
講師	佐藤 早苗氏 シャボン玉遊び研究所主宰 元静岡県立吉原工業高等学校校長	東 俊光氏 静岡大学教育学部教授 元静岡大学教育学部附属養護学校校長
講義概要	いろいろなシャボン玉作りを実演し、シャボン玉の秘密をおもしろクイズで解きながら、驚きと感動と共に、その不思議を“科学してみよう”。	スケッチ旅行に訪れる機会の多いイタリアの言語と生活習慣について紹介したり、自分たちの生活と比較させたりすることで、異文化に対する興味・関心を深める。

2006年度 第1回（通算：第2回）

	講義 1	講義 2
講義名	「駿府城をもっとよく知ろう」	「隣の国に行ってみよう～ごきげんな韓国濟州島～」
講師	小和田 哲男氏 静岡大学教育学部教授	並川 欣史氏 名鉄観光サービス株式会社 静岡支店 営業係長
講義概要	城はなぜ造られたか、城の種類などを概説し、駿府城の歴史、築城した徳川家康について解説する。また、駿府城を“探検”するための見所やポイントを考える。	魅力的な韓国濟州島への旅行を紹介しながら、パスポートの取り方など海外旅行をするために役立つ情報を提供する。

2006年度 第2回（通算：第3回）

	講義 1	講義 2
講義名	「宇宙人はいる?! 宇宙の不思議」	「やっぱりサッカーは最高!～2006W杯ドイツ大会を観戦して～」
講師	寺尾 理氏 前静岡県総合教育センター教授	難波 邦雄氏 静岡大学教育学部教授
講義概要	地球に人間がいるように、宇宙のどこかの星には、宇宙人や生き物がいるのかなど、宇宙の不思議を分かりやすく、面白く講義する。	4年に一度開催されるサッカーW杯。今年行われたドイツ大会の観戦記やドイツの生活ぶりについて紹介する。また、氏がサッカーを通して学んだことや人との出会いについても触れる。

2007年度 第1回（通算：第4回）

	講義 1	講義 2
講義名	「アイスブレイクからはじめよう！～心理の世界へようこそ～」	「地震はなぜ起こる？」
講師	大畑 智里氏 静岡大学教育学部附属特別支援学校教諭	小山 真人氏 静岡大学教育学部教授
講義概要	アイスブレイクを通して、初対面の人との緊張をときほぐす。無人島SOSゲームを体験しながら、周りの人とのコミュニケーションのこつを探る。	地震や津波が起こる仕組みを、ビデオやスライドを使って分かりやすく説明する。いつ起きてもおかしくないと言われる東海地震について、震度や津波の規模を予想する。

2007年度 第2回（通算：第5回）

	講義 1	講義 2
講義名	「コンビニの秘密」	「モータってなんだ？～ペットボトルモータをつくろう！～」
講師	伏見 一茂氏 セブン・イレブン・ジャパン 東海ゾーン ゾーンマネージャー	増田 好治氏 静岡大学名誉教授 NPO 法人技術教育教材開発研究会 今田 真一氏 静岡大学教育学部附属特別支援学校教諭
講義概要	おでんが一番売れるのはいつ？一日の時間帯ごとに売り場が変わるって本当？など、クイズ形式で、身近にありながら知らなかったコンビニエンスストアの秘密に迫る。	フレミングの左手の法則やモータの原理を説明した後、磁石と電池を使ったペットボトルモータを作成する。はんだごてにも全員が挑戦して、モータを完成させる。

スタッフ名簿

(あいうえお順)

学ぶって楽しい!—大学で学ぼう—実行委員会

(静岡県知的障害者就労研究会)

伊賀 匡	池上 登	五條由美子	柴田カヨ子	瀬戸脇正勝
徳増 五郎	増田 淳子	望月 導章	山下 光司	山下 基路

静岡県立富士養護学校

小岱 和代

静岡県立静岡北養護学校

稲木 尚美 齋藤 一成 吉田 幸弘

静岡大学教育学部附属特別支援学校

今田 真一 大畑 智里 柴田 美鈴 高木 亮 田中 宏和

静岡大学生涯学習教育研究センター

阿部 耕也 金子 淳 中野美恵子 平野 伸子 山本 義彦

静岡大学教育学部

杉山 昌孝 長谷部千恵 渡辺 明広

静岡大学教育学部学校教育教員養成課程特別支援教育専攻学生

日本大学国際関係学部専攻学生

このほかにもお手伝いいただいた方がいらっしまったかもしれません。お名前が入っていない方がいらっしまったら、申しわけありません。

多くの方のご協力をいただき、ありがとうございました。

編集後記

「学ぶって楽しい！ー大学で学ぼうー」は年に2回しか開催できていませんが、こうしてまとめができましたことを嬉しく思っています。

この講座は、次の点が特徴だと思っています。

- ・ 社会人（ご本人）たちからリクエストをしていただいて、講義名や講師を決めていること
- ・ 講師に、講義の進め方などについては、私たちスタッフが何かと要望させていただくのですが、講義内容については、講師のご専門にお任せしていること
- ・ 学生の、学びのパートナーの支援があって、みんなで共学をめざしていること
- ・ （手前ミソになりますが、）毎回、この冊子（報告書）のような、講義のまとめをしていること

これらの特徴が随所に伺えますようにと編集をしました。

毎回作成する冊子は、ご要望があれば、社会人のみなさんに進呈しています。最近聞いた話ですが、参加した社会人の人たちが、この冊子を手にもされることを大変楽しみにしているとのこと。今後は、社会人の人たちが見て分かりやすいもの、さらにそれぞれの学びを発展させるものになることも新たな視点にして、取り組みたいと思っています。

最後になりましたが、関係各位には何かとお世話になりました。ありがとうございました。

（渡辺）

2007 静岡大学公開セミナー報告集（通巻第4号）

学ぶって楽しい！－大学で学ぼう－
学びの内容とその支援

発行日—— 2008年3月31日

編集—— 静岡県知的障害者就労研究会
（連絡先）静岡大学教育学部 渡辺明広研究室
☎ 054-238-4246

発行—— 静岡大学生涯学習教育研究センター
〒 422-8529 静岡市駿河区大谷 836
☎ 054-238-4817